

2024 年度東京都アーチェリー協会定例総会 議事録

日時 2024 年 5 月 29 日

場所 渋谷区スポーツセンター小体育館

注記 議長：町田市ア協 中川 様、書記：飯泉(代 松村、成田)

1. 開会 司会者：副理事長 小野寺
評議員出席状況(19:00 現在)出席 22 人、委任状 1 通で合計 23 人
出席評議員の総数 31 人の過半数に達しており、総会は成立
2. 会長あいさつ
副会長 保坂 真宏
3. 議長選出
司会者推薦で、町田市ア協 中川 邦房様にお願ひし、評議員に承認される。
本総会の議事録作成の為、記録係として総務 飯泉さんを指名

<議事>

4. 議案第1号 2023 年度東京都アーチェリー協会事業報告
 - ・議案説明：理事長 松村
 - ・質 疑：ご意見なし
 - ・【採 決】：挙手多数により可決
5. 議案第2号 2023 年度東京都アーチェリー協会収支決算の認定について
同会計監査報告(会計監査 4/27 新宿にて)
 - ・議案説明：
 - ①一般会計について 会計 成田
資料の訂正：特別会計の本会計への精算分が本会計に含まれていないことが確認されたため資料の修正を行う。これにより収入の当期合計と次期繰越金額が変更となる。
 - ②特別会計について 強化部会 川上
 - ③会計監査報告 監事 岡安
 - ・質 疑：ご意見なし
 - ・【採 決】：挙手多数により可決
6. 議案第3号 2024 年度東京都アーチェリー協会事業計画(案)
 - ・議案説明：理事長 松村
 - ・質 疑：

●港区 大川様

- ・東京都アーチェリー協会規約、第8条第6項の「理事 若干名」という表記は、地区協会より1名理事を派遣している実態に合っていないと考えます。

【回答】副会長 近藤

→「若干名」の記載が合理的と判断している。全ての区町村が加盟しているわけではなく今後も変動する可能性がある。実数での表記をした場合、その都度規約の改定が必要となるため、現記載でのご理解をお願いします。

- ・理事会の議事録がホームページに掲載されているが、例えば2024年2月、3月、4月の議事録のタイトルは理事会議事録とあるが、常務理事会議事録の間違いではないか。記録等を公表する際の確認、検証が不十分のように見受けられます。

【回答】副会長 近藤

→内容について確認し掲載を進めていたが、タイトルの確認が見落とされていた。確認の不備に関してお詫びいたします。

- ・東京インドアオープンの前日に会場設営のため出役した理事に対し、報酬がなかったと聞いています。事実関係の確認をお願いいたします。

【回答】副会長 近藤

→事前準備に関しても報酬はお支払いしている。解散時に報酬受け取りの確認を行っていたが行き届かなかった可能性はあります。報酬の支払いは行いますので報酬を受け取っていない方の情報をお知らせください。

- ・監事は会計の監査だけでなく、協会の運営等が決められた通り運用されているか、また不備がないかについても監査頂きたい。

【回答】副会長 近藤

→ご指摘の通り規約では監事の役割は会務および会計の監査となっているが、現状では全ての運営について常勤ではない2名の監事で行うことには無理があり、総会で評議員の方々にご指摘・ご意見をいただき対応していくことをご理解いただきたい。

●台東区 湯浅様

- ・配布資料に別紙11が資料に含まれていないので、内容を確認したい。

【回答】理事長 松村

→配布資料に別紙11が含まれていなかった。追加で配布します。内容はホームページに掲載されている競技予定と同じです。

・購入予定だったタイマーについて、どのように対応するのか。

【回答】理事長 松村

→駒沢で使用していたタイマーと同じもの購入を考えているが、リースについても含めて検討している。今年度は検討および交渉の段階で予算の執行は 2025 年度になる見込み。

・【採 決】： 挙手多数により可決。

7. 議案第4号 2024 年度東京都アーチェリー協会予算(案)

・議案説明：

①一般会計について 会計 成田

資料の訂正：決算書の修正により、収入の前年度決算の合計および繰越金額が変更となる。

②特別会計について 強化部会 川上

・質 疑：

●港区 大川様

・登録料の中の都ア協の年会費はどのくらいか

【回答】会計 成田

→収入 600 万円から支出 400 万円の差額 200 万円が都ア協の年会費です。

・特別会計は補助金の範囲内で行うべきではないか、予算の 170 万円は、都ア協の会費の 8 割を超えている。

【回答】理事長 松村

→都ア協の会費は、分担金、賛助会費、謝金および一般運営費で利用されている。特別会計への繰り入れの多くは記録会運営での利益から捻出しています。都ア協の会費が特別会計になることではないことをご理解ください。

・謝金についての見直しをお願いしたい。現状では謝金額が低く、協会員の協力が得にくく将来の活動に影響することが予想される。

【回答】理事長 松村

→謝金については理事会により検討していきます。

●西東京市 西畑様

・特別会計の前年度決算額が 2023 年度の決算書の数字と異なる

【回答】会計 成田

→錯誤につき、予算書の訂正を致します。

●台東区 湯浅様

・事業費の暁代が計上されていない

【回答】会計 成田

→事業費の暁代は駒沢の暁代の記載のため、今後予算書から削除していきます。インドアで使用される暁については別紙のインドア明細の通り、計上しています。

・【採 決】： 挙手多数により可決

8. 議案第5号 公認協議会の運営に関する基本方針

・議案説明：副会長 近藤

・質 疑：

●港区 大川様

・基本方針は重要で進めていただきたい。健全な競技会を運営していくには役員の報酬を増やす必要があると考えます。また、競技会スタッフとして協会員が参加してもらえる方法に関しても議論を継続していただきたい。

・【採 決】： 挙手多数により可決

< 報告案件 >

9. 報告第1号 2025年度予算編成に関して

・議案説明：理事長 松村

・質 疑： ご意見なし

10. 議長解職のあいさつ

町田市ア協 中川 邦房様

11. 副会長謝辞

副会長 昼間 一雄

以上

2024 年度東京都アーチェリー協会定例総会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出

《議事》

4. 議案第 1 号 2023 年度東京都アーチェリー協会事業報告
5. 議案第 2 号 2023 年度東京都アーチェリー協会収支決算の認定について
同会計監査報告
6. 議案第 3 号 2024 年度東京都アーチェリー協会事業計画(案)
7. 議案第 4 号 2024 年度東京都アーチェリー協会予算(案)
8. 議案第 5 号 公認競技会の運営に関する基本方針

9. 副会長謝辞
10. 閉会

以上

2024 年度
東京都アーチェリー協会定例総会資料集

東京都アーチェリー協会

総括

- ✓ 過去の事故例等を教訓として、競技会のみならず、各区市協会(連盟)・所属高校の練習会場での事故撲滅に向けて、周知徹底活動等に更に尽力した。 総
- ✓ 都ア協所在地を確定・固定化し、事務局負担を軽減した。 総
- ✓ 引き続き、専門委員の積極的な人選と選任(各部会が主体で人選)を図り、協会運営に参画できる人材を育成した。 総
- ✓ 都ア協ホームページをより良いものとするよう各部会と協力した。 総・競
- ✓ 競技中の個人情報取り扱いを競技者に周知するよう努めた。 総
- ✓ 公認競技会への役員配置、及び夢の島公園射場での競技会運営への審議会答申を受けて、公認競技会の運営方法を具体的に協議した。 総・審・競
- ✓ ネット銀行を活用し、運営経費の節減に取り組んだ。 総
- ✓ 新たなインドア会場(BumB 東京スポーツ文化館)の設営方法を検討し競技会を実施した。 審・競
- ✓ 1級公認審判員新規認定会参加希望者に、認定試験合格に向けた研修支援活動を実施した。 審
- ✓ ジュニア大会の、1事業を実施。 普
- ✓ 強化部と協力し、ジュニア合宿、ジュニア指導者向け講習会を実施。 強・普
- ✓ JSP0 公認スポーツ指導者(アーチェリーコーチ1)資格取得のための養成講習会の開催。 普
- ✓ トップアスリート発掘・育成事業と高校部活動の合同合宿を試み、同世代の高校選手との交流、及び進路決定の一助とした。 普・強
- ✓ 新たなインドア会場として、BumB 東京スポーツ文化館を選定した。 審・競
- ✓ 公認競技会会場の確保と日程調整。 競
- ✓ 会場地評価を実施し、コストと会場設営が厳しい駒沢公園の利用を終了した。 競
- ✓ 資材費高騰により、新たな信号機の契約に至らなかった。 競
- ✓ 強化の練習拠点として夢の島射場を積極的な活用を図った。併せて、当該射場において団体戦のオープン大会を実施し、他県の選手との実戦練習を重ねた。 強
- ✓ 鹿児島国体への全種別出場は逃すも、成年男子7位、成年女子11位、少年女子8位を収め、東京都体育協会より国体選手優秀選手賞を受賞した。
- ✓ 小中学生を対象とし、栄養やメンタル等のアスリートとしての知識向上を目的とした強化教育合宿を実施した。 強

・部会別報告

部 会	活 動 報 告
<p>総務部会 (別紙 1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定例総会、理事会・常務理事会の開催 ✓ 各種関係会議等への出席 ✓ 全ア連登録事務、スターバッジ申請の受付 ✓ 全ア連、都体協、東京都関係書類の配信 ✓ 役員、理事、専門委員への傷害・賠償保険への加入と関係手続 ✓ 大会参加者への傷害保険の加入と関係手続 ✓ 都ア協HPの運用と活用 ✓ 都ア協所在地の確定・固定化の実施 ✓ 個人情報の取扱いの周知を行うよう努めた。 ✓ 審議会答申を受けての公認競技会の運営方法の具体案の策定
<p>審判部会 (別紙 2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 審判講習会(新規 2・3 級、フォローアップ講習、1 級対策) ✓ 派遣事業(全国講習、関東学連、関東ア連ほか) ✓ 直轄大会での審判業務 ✓ 審判員業務の標準化(ユニフォーム斡旋、審判長注意の改訂)
<p>普及・育成部会 (別紙 3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 強化部会と共管し、東京都トップアスリート発掘・育成事業の受託 ✓ JSP0 公認スポーツ指導者資格取得のための講習会の実施 ✓ 普及育成活動として、ジュニア大会の実施 ✓ 強化部と協力してジュニア合宿・ジュニア指導者講習会の実施
<p>競技部会 (別紙 4～5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 競技会場の新規利用開始と整理調整 ✓ 全ア連公認競技会(ブロック主管大会)の運営方法の検討 ✓ 直轄競技会の運営で新たな取り組みを導入した ✓ 信号機の新規導入に努めたが、契約に至らなかった。
<p>強化部会 (別紙 6～7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国体候補選手強化事業は 9 回実施(うち合宿 1 回、遠征試合 0 回) ✓ ジュニア特別強化事業は 8 回実施(うち合宿 3 回、遠征試合 1 回) ✓ オリンピック等日本代表候補選手強化事業は遠征 2 回実施 ✓ 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業は遠征 1 回実施 ✓ 帯同トレーナーによる選手へのパフォーマンス向上と指導法の習得 ✓ 鹿児島国体への全種別出場は逃すも、夢の島射場の拠点化やトップアスリート事業との共管などにより、選手強化は着実に結実している。 ✓ 団体戦のオープン大会の開催により、実戦練習を積むことができた。

以上

◎総務部会

1 定例総会の開催

2023年5月24日(水)

- ・2022年度事業報告・決算
- ・2023年度役員の選出
- ・2023年度事業計画・予算

2 理事会の開催

- ・理事会 5/10・6/7・10/4・24/1/10 計4回
- ・常務理事会 2023/4/5～2024/3/6 計8回

3 関係団体会議への出席(主なもの)

- ・全ア連関係 6/11(社員総会) 11/25(全国事務局長会議：隔年開催)
- ・関東ア連関係 2024/2/11(加盟団体定例役員総会)
- ・都体協関係 都合により欠席(幹部研修、代表者会議)

4 全ア連・都ア協登録人数 2023年度 (高体連は除く)

	都ア協のみ	全ア連まで	小計	増減	参考2022年度
一般	140	609	749	+18	731
指導者	2	71	73	+14	59
キャデット	82	102	184	+14	161
合計	224	782	1006	+55	951

5 スターバッジ申請状況 2022年度

	銅	銀	金	赤	白	紫	小計
RC 1440ラウンド							
CP 1440ラウンド							
インドアRC	10	8	1	1			21
インドアBB			1				1
インドアCP		1	8		1		10
フィールドRC	1	1					2
フィールドCP		1	2				3
フィールドBB	2		1				3

	ホワイト	ブラック	ブルー	レッド	ゴールド	パープル	小計
RC 70mラウンド	9	10	1				20
BB 50mラウンド		2	4	1			7
CP 50mラウンド			1	2			3

グリーン(安全)	61	キャデット	赤	黄	申請総合計(参考2022年度)
再発行	0		0	0	

6 安全確保

- (1) 都ア協全役員・理事・専門委員に対し、スポーツ安全協会保険の加入を継続実施した。
- (2) 都ア協主催の公認競技会に参加の選手、審判員等に対し、傷害保険の加入を継続実施した。

7 都ア協ホームページ

開設3年が経過し、より活用しやすいホームページへ改良を続けてきた。

8 公認競技会のあり方審議会「答申」の具体化への取り組み

「答申」を受けて、答申の内容に即した今後の公認競技会の運営方法について、4回に渡って常務理事会で検討した。

(第1回) 11月4日、(第2回) 12月6日、(第3回) 2月7日、(第4回) 3月6日

9 事務所所在地の移転等

GMO オフィスサポートを利用し、事務所の所在地を「東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号 渋谷道玄坂東急ビル2F-C」とし、将来に向けて安定的な運営を図った。

また、新たに、GMO あおぞらネット銀行に複数口座を開設し、運営の利便性の向上と軽費の節減を図った。

◎審判部会

1 1級公認資格関係

(1) 昇級促進事業

公認競技会の永続開催に向け、2級審判員を審判部会の専門委員に任命し、都ア協直轄競技会での審判員業務の経験を促し、1級審判員認定試験に向けた気運の醸成を図った。

(2) 支援事業

全ア連認定試験合格に向け、受験者への個別指導の実施、受験に係る経費補助等の施策を講じた。

2 講習会

(1) 新規2級・3級審判員講習会

2024年3月20日 BumB東京スポーツ文化館 研修ルームB

一般会員・関東学連対象に開催、2級8名、3級19名が受講した。

(2) 3級審判員フォローアップ講習会

①5月4日《第1回》 夢の島公園 7名

②6月18日《第2回》 光が丘公園 1名

③10月1日《第3回》 小金井公園 2名

3 派遣・視察事業

(1) 全国指導者・審判ルール研修会の参加

11月25～26日 全ア連主催 於：佐賀県佐賀市1名

(2) 関東地区フィールド選手権大会

9月16～17日 於：佐倉フィールド審判員の派遣1名

(3) 全ア連の要請に基づく審判員の派遣

①第52回世界選手権大会最終選考会兼アジア競技大会最終選考会

(4月6～9日 夢の島公園 7名)

②第52回CP世界選手権大会最終選考会(4月10～12日 夢の島公園 8名)

③第65回全日本ターゲット選手権大会(10月20～22日 夢の島公園 9名)

④2024ナショナルチーム U21ナショナル・U18ナショナル選考会

(11月2～5日 夢の島公園 11/2・2名、11/3・6名、11/4・5名)

⑤2024FTQT代表選考会・パリオリンピック予備選手選考会

(3月7～10日 夢の島公園 3/7・3名、3/8・5名、3/9・11名、3/10・9名)

(4) 関東学連の要請に基づく、1級審判員の派遣、及び講習会講師の派遣

①関東学連男女リーグ戦(4月16日、23日 夢の島公園)

②関東学連フィールド役員向け実地講習会(6月3日 花のやまFA)

③関東学連フィールド個人選手権大会(6月30日～7月2日 花のやまFA)

④関東学連ターゲット個人選手権大会本戦(8月23～24日 夢の島公園)

⑤関東学連第2回ドリームカップ(9月9日 夢の島公園)

⑥関東学連GMARCH戦(9月16日 夢の島公園)

⑦関東学連第 61 回全日本学生アーチェリー個人選手権大会

(9月22～24日 夢の島公園)

⑧関東学連六大学戦 (9月30日 夢の島公園)

⑨高柳杯大会 (11月11日 夢の島公園)

⑩関東学連インドア個人選手権大会 (12月23～24日 BumB 東京スポーツ文化館)

⑪関東学連 2024 年度関東学生春季大会 (2024 年 3 月 17 日 夢の島公園)

(5) 傘下団体競技会の運営協力

①シブヤクラシック (7月8～9日 夢の島公園 18名)

4 直轄競技会での審判業務

(1) 第 76 回都民大会 (5月28日 夢の島公園)

(2) 2023 年度東京都フィールド選手権大会 (8月20日 花のやま FA)

(3) 2023 年度東京都ターゲット選手権大会 (8月27日 夢の島公園)

(4) 2023 年度東京都室内アーチェリー選手権大会

(12月16～17日 奥戸総合スポーツセンター)

(5) 東京インドアオープン 2024 (2024 年 2 月 3 ～ 4 日 BumB 東京スポーツ文化館)

5 I@nseo(イアンセオ)機材貸出し、及びオペレーターの派遣

(1) 第 52 回世界選手権大会最終選考会兼アジア競技大会最終選考会

(4月6日～9日 夢の島公園)

(2) 第 52 回 CP 世界選手権大会最終選考会 (4月10日～12日 夢の島公園)

(3) 全日本社会人ターゲット選手権大会 (6月23日～25日 夢の島公園)

(4) 関東学連フィールド個人選手権大会 (6月30～7月2日 花のやま FA)

(5) 全日本ターゲット選手権大会 (10月19日～25日 夢の島公園)

(6) 2024 ナショナルチーム選考会 (11月3～5日 夢の島公園)

(7) 高柳杯大会 (11月11日 夢の島公園)

(8) 関東学連インドア個人選手権大会 (12月23～24日 BumB 東京スポーツ文化館)

(9) 2024 F T Q T 代表選考会・パリオリンピック予備選手選考会

(3月17～10日 夢の島公園)

(10) 江戸川インドアオープン (11月25～26日 江戸川区総合体育館)

(11) 青梅市インドアオープン (1月28日 住友金属鉦山アリーナ青梅)

6 審判業務の標準化

(1) ユニフォームの斡旋

全ア連公認ユニフォームを新規 3 級公認審判員講習会で帽子とポロシャツ、都ア協審判赤ジャンパーを販売した。

(2) 審判長注意事項の統一化

各競技会場において行う審判長注意事項を審判部会において見直し、安全指導に特化した内容に標準化した。

◎普及・育成部会

1 東京都トップアスリート発掘・育成事業(東京都、(公財)東京都体育協会の助成事業)

(1) 第 14 期生専門プログラム(アーチェリー競技選択者への指導)

- ①実施期間 5月7日～12月17日の間、計21回
- ②実施内容 合同練習会、合宿及び2試合の大会参加
- ③開催地 日本体育大学アーチェリー部、中央区総合スポーツセンター、世田谷公園、光ヶ丘公園、小金井公園、江戸川区総合体育館、夢の島公園、忍野村原の家
- ④参加者数 男子1名、女子3名の計4名
- ⑤大会参加 2023年度第2回東京都小学生・中学生大会、2023年度東京都室内アーチェリー選手権大会の計2試合

(2) 第 15 期生体験プログラム(アーチェリーの適性を確認するための体験射会)

- ①実施日 1回目9月18日、2回目10月29日
- ②会場 江戸川区総合体育館
- ③参加数 1回目(男子9名、女子21名) 2回目(男子7名、女子13名)

(3) フォロープログラム(帯同コーチの派遣)

未実施

2 小中学生アーチェリー大会の開催

ジュニア層の普及育成活動の実施

- ①第1回 7月16日 於：夢の島公園 参加者56名
- ②第2回 10月1日 於：夢の島公園 参加者74名

3 指導者講習会の開催

指導者の育成活動の実施

3月3日 於：夢の島 BumB 東京スポーツ文化館 参加者6名(合宿参加者)

4 JSP0 公認スポーツ指導者〈アーチェリーコーチ1〉資格取得講習会の開催

- ①実施日 2023年11月12(日)・18(土)・23(木祝)
- ②会場 BumB 東京都スポーツ文化館
- ③参加数 51名 ※ 欠席無し全員が合格

◎競技部会

1 競技会場の新規利用開始と整理調整

(1) インドア会場の定着化

- ①都室内選手権の開催地として、葛飾区総合スポーツセンター体育館の定着化を図った。
- ②新たな競技会場として、夢の島・BumB 東京スポーツ文化館の使用許可を受け、東京インドアオープン会場の定着化を図った。

(2) アウトドア会場の整理

駒沢オリンピック公園第一球技場の利用を 2023 年度をもって終了した。それに伴い、備品の移動を行った。

夢の島公園アーチェリー場の安全な運営のため、危険ゾーンを明確化した。また前年に引き続き、安全かつ安心な射場として活用が可能になるよう、東京都へ改善を要望した。

2 全ア連公認競技会(ブロック主管大会)の運営方法の検討

(1) 新型コロナの五類移行に伴い、アウトドア競技会においては各会場共、参加者が増加した。小金井・光が丘の両射場においては抽選回数が増えたため、3 立ちの復活など出場枠増加について参加者アンケートを行い、会員の意向を反映した運営を行っていくこととした。

(2) 公認競技会への役員配置、及び夢の島公園射場での競技会運営等への審議会答申を受けて、具体案の策定を行った。

3 直轄競技会の運営等

(1) 大会運営(開催順)

- ①2023 年度東京都フィールドアーチェリー選手権大会(8月20日 花のやま)
- ②2023 年度東京都ターゲットアーチェリー選手権大会(9月10日 夢の島)
- ③2023 年度東京都室内アーチェリー選手権大会(12月16~17日 葛飾区SC)
- ④東京インドアオープン2024(2月3~4日 BumB 東京館文化スポーツ館)

(2) 新たな取り組み

- ①夢の島とインドアの申込みに WEB チケット販売サイトを利用した先着順受付を導入した。
- ②インドア大会の年齢区分にグランドマスター及びレジェンドを追加し、生涯スポーツとしてのアーチェリーを明確化した。

4 信号機購入の件

新規購入を予定の信号機だが、資材費高騰により当初見積もりを超過したため、2023 年度中の契約締結には至らなかった。

2023年度 東京都アーチェリー協会主催大会 参加者数

	アウトドア		フィールド		インドア		都民大会	
	試合数	参加者数	試合数	参加者数	試合数	参加者数	男子	女子
2019年度(R1)	26試合	1,881名	9試合	299名	1試合	511名	28チーム	25チーム
2020年度(R2)	13試合	657名	6試合	109名	3試合	603名	中止	
2021年度(R3)	21試合	1,258名	9試合	260名	3試合	729名	中止	
2022年度(R4)	30試合	2,282名	9試合	293名	3試合	971名	28チーム	22チーム
2023年度(R5)	32試合	2,355名	9試合	325名	3試合	911名	28チーム	23チーム

アウトドア

	開催日	種目	大会名	会場	参加人数
1	23/04/02	70mR,50mB,C	2023春季小金井大会	小金井	94
2	23/04/16	70mR,50mB,C	2023春季光が丘大会	光が丘	72
3	23/04/23	50m・30mB,R	2023第1回駒沢50・30大会 (CP不可)	駒沢	32
4	23/05/04	70m60mR,50mB,C	2023第1回夢の島ターゲット大会	夢の島	123
5	23/05/07	70mR,50mB,C	2023小金井ターゲット大会	小金井	99
6	23/05/14	50m・30m・18mR	2023第2回駒沢50・30大会 (CP不可)	駒沢	39
7	23/05/21	70mR,50mB,C	2023第1回光が丘ターゲット大会	光が丘	72
8	23/05/28	30m	第76回都民体育大会	夢の島	153
9	23/06/04	70mR×2	特別国民体育大会アーチェリー競技東京都選考会	夢の島	47
10	23/06/11	50m・30mB,R	2023第3回駒沢50・30大会 (CP不可)	駒沢	48
11	23/06/18	70mR,50mB,C	2023第2回光が丘ターゲット大会	光が丘	71
12	23/07/02	70mR	2023第1回国体選手記録会→関東合同記録会	夢の島	20
13	23/07/02	70m60mR,50mB,C	2023第2回夢の島大会 (関東合同記録会と併催)	夢の島	52
14	23/07/09	70m60mR,50mB,C	2023夏季小金井大会	小金井	70
15	23/07/16	50m・30m・18mR	2023第1回東京都小・中学生大会 要熱中症対策	夢の島	57
16	23/07/17	70mR,50mB,C	2023年度夏季関東小中学生オープン夢の島大会兼2023第3回国体選手記録会	夢の島	62
17	23/07/30	50m・30m・18mR	2023年度関東地区大会予選会兼第3回夢の島ターゲット大会	夢の島	125
18	23/08/27	70mR,50mB,C	2023年度東京都ターゲットアーチェリー選手権大会	夢の島	97
19	23/09/03	70mR,50mB,C	2023東京都年齢別大会	小金井	69
20	23/09/24	50m・30mB,R	2023光が丘50・30大会 (CP不可)	光が丘	58
21	23/10/01	50m・30m・18mR	2023第2回東京都小・中学生大会	夢の島	80
22	23/10/08	70m60mR,50mB,C	2023秋季夢の島大会	夢の島	121
23	23/10/14	70mR,50mB,C	2023秋季小金井大会	小金井	100
24	23/10/22	900ラウンドR,B,C	2023東京都マスターズ大会	光が丘	47
25	23/11/05	900ラウンドR,B,C	2023東京都900ラウンド大会 (フライト制)	小金井	41
26	23/12/03	70m60mR,50mB,C	2023第1回東京都強化夢の島大会	夢の島	40
27	23/12/10	70m60mR,50mB,C	2023第2回東京都強化夢の島大会	夢の島	59
28	23/12/24	70m60mR,50mB,C	2023第3回東京都強化夢の島大会	夢の島	53
29	23/12/24	18m	2023夢の島アウトドアインドア大会	夢の島	40
30	24/03/10	70mR,50mB,C	第43回毛利杯	光が丘	92
31	24/03/17	70mR,50mB,C	2023スプリングカップ光が丘大会	小金井	72
32	24/03/24	70m,60mR,50mB,C	2023スプリングカップ夢の島大会	夢の島	150
合計					2,355

【2,282】

↑前年実績数

フィールド

	開催日	種目	大会名	会場	参加人数
1	23/04/02	F	2023第1回フィールド大会	花のやま	48
2	23/05/03	F	2023第2回フィールド大会	花のやま	35
3	23/06/25	F	2023第3回フィールド大会	花のやま	42
4	22/07/23	F	2023第4回フィールド大会	花のやま	42
5	22/08/20	F	2023年度東京都フィールドアーチェリー選手権大会	花のやま	29
6	22/10/15	F	2023第5回フィールド大会	花のやま	11
7	22/11/12	F	2023第6回フィールド大会	花のやま	26
8	23/01/14	F	2023第7回フィールド大会	花のやま	33
9	23/03/03	F	2023第8回フィールド大会	花のやま	59
合計					325

【293】

↑前年実績数

インドア

	開催日	種目	大会名	会場	参加人数
1	23/12/16,17	18m	2023年度東京都室内アーチェリー選手権大会	葛飾区SC	325
2	24/01/13	18m	2023東京都町田インドア大会	町田市総合体育館	184
3	24/02/3,4	18m	東京インドアオープン2024	BumB	402
合計					911

【971】

↑前年実績数

◎強化部会

1 国体強化関連事業

(1) 選考会の実施

夢の島公園にて予選会を実施

(2) 国体候補選手の強化

① 7月 山梨県忍野八海にて3日間の合宿を実施

② 7月 東京都の現状レベル確認と情報交流等を目的に関東合同練習会を実施

③ 9月 2023年秋夢の島団体戦大会(オープン大会)を実施(新規)

(3) 関東ブロック大会(埼玉県・はらっパーク)

成年男子2位、成年女子2位、少年女子2位にて通過。少年男子6位にて敗退。

(4) 国民体育大会(鹿児島県)

成年男子7位、成年女子11位、少年女子8位

東京都体育協会より国体優秀選手賞を受賞

2 ジュニア特別強化事業

(1) 強化合宿の実施

次代の青年層強化を目的とし、高校生対象の強化合宿を実施する。

日程：11月10日～12日(2泊3日) 於：福岡県・城山緑地公園

3月15日～17日(2泊3日) 於：埼玉県・はらっパーク

(2) 東京都強化教育合宿

技術力の向上だけでなく、栄養学やスポーツメンタル等の多彩な講師を招聘し、広範な知識の取得、及び団体行動による規律と一体感等の醸成を目的とする。

日程：3月2～3日(1泊2日) 於：夢の島公園(BumB 東京スポーツ文化館)

4 トップアスリート発掘育成事業(普及育成部会との共管)

第14期トップアスリート4名の専門プログラムを開始

内3名が高校進学後も競技継続予定

高校部活動との合同合宿の開催により、進路決定プロセスの一助となった。

5 個人成績の評価(都ア協強化チームのメンバー)

2023年世界ユース選手権大会 個人17位、団体5位。

第77回国民体育大会予選個人順位3位入賞。

第44回全日本社会人フィールドアーチェリー選手権大会 RC女子2位、4位入賞。

2023年度 競技力向上事業 国体候補選手強化事業 収決算支総括表

【決算総括】

収入	分担金	1,952,250		
	競技団体負担金	67,981		
	その他	0		
	合計	2,020,231		
支出	計		分担金	分担金以外
	1 謝金	987,000	987,000	0
	2 交通費	104,923	75,990	28,933
	3 宿泊費	594,500	590,000	4,500
	4 食糧栄養費	71,700	46,300	25,400
	5 競技用消耗品費	38,421	38,421	0
	6 使用料・借上料	202,484	198,059	4,425
	7 通信運搬費	7,630	7,630	0
	8 事務雑費	8,520	8,520	0
	9 その他	5,053	330	4,723
合計	2,020,231	1,952,250	67,981	

【内訳明細】

事業	第3回記録会			夏季強化合宿			関東ブロック大会リハ		
分担金	138,128	日程：7/17		1,146,536	日程：7/21-7/23		163,207	日程：8/12-8-13	
競技団体負担金		会場：夢の島公園		65,256	会場：真の家グラウン			会場：夢の島公園	
その他		参加者数：14人		0	参加者数：25人		0	参加者数：18人	
合計	138,128	指導者数：17人		1,211,792	指導者数：11人		163,207	指導者数：8人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	119,000	119,000		357,000	357,000		112,000	112,000	
2 交通費	0			75,283	46,350	28,933	29,640	29,640	
3 宿泊費	0			594,500	590,000	4,500	0		
4 食糧栄養費	14,000	14,000		39,700	14,300	25,400	18,000	18,000	
5 競技用消耗品費	2,298	2,298		11,962	11,962		2,907	2,907	
6 使用料・借上料	0			118,724	117,024	1,700	0		
7 通信運搬費	2,680	2,680		1,750	1,750		420	420	
8 事務雑費	150	150		7,820	7,820		240	240	
9 その他	0			5,053	330	4,723	0		
合計	138,128	138,128	0	1,211,792	1,146,536	65,256	163,207	163,207	0

事業	2023年度東京都アーチェリー選手権大会			団体戦練習			団体戦練習		
分担金	24,092	日程：8/27		159,799	日程：9/17		50,393	日程：10/1	
競技団体負担金		会場：夢の島公園			会場：夢の島公園			会場：国際基督教大学	
その他	45,531	参加者数：19人		45,552	参加者数：18人		45,566	参加者数：9人	
合計	69,623	指導者数：3人		205,351	指導者数：19人		95,959	指導者数：5人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	21,000	21,000		133,000	133,000		35,000	35,000	
2 交通費	0			0			0		
3 宿泊費	0			0			0		
4 食糧栄養費	0			0			0		
5 競技用消耗品費	2,338	2,338		4,313	4,313		14,603	14,603	
6 使用料・借上料	0			20,940	20,940		0		
7 通信運搬費	714	714		1,276	1,276		790	790	
8 事務雑費	40	40		270	270		0		
9 その他	0			0			0		
合計	24,092	24,092	0	159,799	159,799	0	50,393	50,393	0

事業	夢の島冬季大会①			夢の島冬季大会②			夢の島冬季大会③		
分担金	76,940	日程：12/3		104,940	日程：12/10		88,215	日程：12/24	
競技団体負担金		会場：夢の島公園			会場：夢の島公園		2,725	会場：夢の島公園	
その他	45,629	参加者数：8人		45,636	参加者数：12人		45,650	参加者数：16人	
合計	122,569	指導者数：12人		150,576	指導者数：12人		136,590	指導者数：12人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	56,000	56,000		84,000	84,000		70,000	70,000	
2 交通費	0			0			0		
3 宿泊費	0			0			0		
4 食糧栄養費	0			0			0		
5 競技用消耗品費	0			0			0		
6 使用料・借上料	20,940	20,940		20,940	20,940		20,940	18,215	2,725
7 通信運搬費	0			0			0		
8 事務雑費	0			0			0		
9 その他	0			0			0		
合計	76,940	76,940	0	104,940	104,940	0	90,940	88,215	2,725

【別紙 7-2】

2023年度 競技力向上事業 ジュニア選手・育成強化事業 収決算支総括表

【決算総括】

収入	分担金	3,000,000		
	競技団体負担金	33,576		
	その他	0		
	合計	3,033,576		
支出	計		分担金	分担金以外
	1 謝金	711,000	711,000	0
	2 交通費	1,068,000	1,068,000	0
	3 宿泊費	832,600	806,600	26,000
	4 食糧栄養費	108,940	104,740	4,200
	5 競技用消耗品費	17,970	17,970	0
	6 使用料・借上料	258,166	258,166	0
	7 通信運搬費	984	984	0
	8 事務雑費	3,437	3,437	0
	9 その他	32,479	29,103	3,376
	合計	3,033,576	3,000,000	33,576

【内訳明細】

事業	第1回記録会			第2回記録会（関東合同練習会）			2023西日本高校生アーチェリー大会		
分担金	56,873	日程：6/18		117,787	日程：7/2		850,170	日程：7/14-7/17	
競技団体負担金	0	会場：夢の島公園		0	会場：夢の島公園		0	会場：鹿島市陸上競技場	
その他		参加者数：14人			参加者数：17人			参加者数：6人	
合計	56,873	指導者数：6人		117,787	指導者数：16人		850,170	指導者数：3人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	42,000	42,000		112,000	112,000		63,000	63,000	
2 交通費	0			0			485,600	485,600	
3 宿泊費	0			0			192,000	192,000	
4 食糧栄養費	11,000	11,000		3,000	3,000		14,000	14,000	
5 競技用消耗品費	3,203	3,203		2,497	2,497		9,531	9,531	
6 使用料・借上料	0			0			71,580	71,580	
7 通信運搬費	20	20		0			740	740	
8 事務雑費	650	650		290	290		520	520	
9 その他	0			0			13,199	13,199	
合計	56,873	56,873	0	117,787	117,787	0	850,170	850,170	0

事業	トップアスリート忍野合宿			福岡県高体連強化記録会			トップアスリート練習会		
分担金	97,267	日程：7/25-7/28		971,322	日程：11/10-11/12		38,373	日程：2/23	
競技団体負担金	300	会場：原の家グラウンド		29,000	会場：北九州市城山緑地公園		0	会場：日本体育大学	
その他		参加者数：6人			参加者数：10人			参加者数：6人	
合計	97,567	指導者数：4人		1,000,322	指導者数：3人		38,373	指導者数：5人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	0			63,000	63,000		35,000	35,000	
2 交通費	0			582,400	582,400		0		
3 宿泊費	93,500	93,500		241,800	215,800	26,000	0		
4 食糧栄養費	2,500	2,200	300	30,000	30,000		0		
5 競技用消耗品費	0			0			2,739	2,739	
6 使用料・借上料	0			78,582	78,582		0		
7 通信運搬費	0			0			224	224	
8 事務雑費	1,567	1,567		0			410	410	
9 その他	0			4,540	1,540	3,000	0		
合計	97,567	97,267	300	1,000,322	971,322	29,000	38,373	38,373	0

事業	強化教育合宿			春季強化合宿（埼玉県第72回高校部公認記録）		
分担金	472,800	日程：3/2-3/3		395,408	日程：3/15-17	
競技団体負担金	3,900	会場：夢の島公園		376	会場：はらっぱパーク宮代	
その他		参加者数：22人			参加者数：11人	
合計	476,700	指導者数：12人		395,784	指導者数：2人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	368,000	368,000		28,000	28,000	
2 交通費	0			0		
3 宿泊費	81,700	81,700		223,600	223,600	
4 食糧栄養費	27,000	23,100	3,900	21,440	21,440	
5 競技用消耗品費	0			0		
6 使用料・借上料	0			108,004	108,004	
7 通信運搬費	0			0		
8 事務雑費	0			0		
9 その他	0			14,740	14,364	376
合計	476,700	472,800	3,900	395,784	395,408	376

2023年度 オリンピック等日本代表候補選手強化事業 決算書

【決算総括】

収入	分担金	840,000		
	競技団体負担金	1,970		
	その他	0		
	合計	841,970		
支出		計	分担金	分担金以外
	1 交通費	0	0	0
	2 宿泊費	21,960	19,990	1,970
	3 海外旅行保険料	0	0	0
	4 使用料・借上料	0	0	0
	5 運搬費	0	0	0
	6 食糧栄養費	0	0	0
	7 参加料・その他	50,000	50,000	0
	合計	71,960	69,990	1,970

【内訳明細】

事業	第65回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会			2024年 ナショナルチーム選考会		
分担金	30,000	日程： 10/20-22		39,990	日程： 11/3-11/5	
競技団体負担金	0	会場： 夢の島公園		1,970	会場： 夢の島公園	
その他		参加者数： 3人			参加者数： 2人	
合計	30,000	指導者数： 人		41,960	指導者数： 人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 交通費	0	0	0	0	0	0
2 宿泊費	0	0	0	21,960	19,990	1,970
3 海外旅行保険料	0	0	0	0	0	0
4 使用料・借上料	0	0	0	0	0	0
5 運搬費	0	0	0	0	0	0
6 食糧栄養費	0	0	0	0	0	0
7 参加料・その他	30,000	30,000	0	20,000	20,000	0
合計	30,000	30,000	0	41,960	39,990	1,970

【別紙 7-4】

2023年度 競技力向上事業 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業 収支決算総括表

【決算総括】

収入	分担金	150,000		
	競技団体負担金	90,585		
	その他	0		
	合計	240,585		
		計	分担金	分担金以外
支出	1 謝金	0	0	0
	2 交通費	45,465	0	45,465
	3 海外旅行保険料	0	0	0
	4 宿泊費	83,250	50,000	33,250
	5 食糧栄養費	0	0	0
	6 使用料・借上料	111,100	100,000	11,100
	7 通信運搬費	0	0	0
	8 事務雑費	0	0	0
	9 その他	770	0	770
		合計	240,585	150,000

【内訳明細】

事業	かごしま国体へのトレーナーの派遣		
分担金	150,000	日程：	10/12-10/17
競技団体負担金	90,585	会場：	鹿児島
その他	0	参加者数：	
合計	240,585	指導者数：	1人
支出	計	分担金	分担金以外
1 謝金	0		
2 交通費	45,465		45,465
3 海外旅行保険料	0		
4 宿泊費	83,250	50,000	33,250
5 食糧栄養費	0		
6 使用料・借上料	111,100	100,000	11,100
7 通信運搬費	0		
8 事務雑費	0		
9 その他	770		770
合計	240,585	150,000	90,585

議案第2号 2023年度東京都アーチェリー協会収支決算の認定について

上記の議案について、別添決算書により報告し、認定を求めます。

2024年5月29日

東京都アーチェリー協会会長 松本 洋平

東京都アーチェリー協会会長 松本 洋平 様

◎東京都アーチェリー協会収支決算に関する監査報告

この度、2023年度会計決算書の監査をしたところ、会計帳簿の記載並びに、証拠書類等の記載事項に誤りがなく、上記決算書類は2024年3月31日をもって終了する会計年度の事業収支を適正に表示しているものと認める。

2024年4月27日

東京都アーチェリー協会

監事 岡安 俊典

監事 坂田 泉

2023年度決算書(一般会計)
自2023年4月1日 至2024年3月31日

東京都アーチェリー協会
(単位 円)

収入の部			項目	支出の部		
対比	決算	予算		予算	決算	対比
15,000	465,000	450,000	分担金	150,000	150,000	
2,900	5,702,900	5,700,000	登録料	4,000,000	3,965,000	△35,000
			賛助会費	130,000	130,000	
			寄付金		100,000	100,000
			補助金	250,000	180,000	△70,000
17,900	6,167,900	6,150,000	計	4,530,000	4,525,000	△5,000
△509,500	6,490,500	7,000,000	事業費			
			記録会等参加費	1,600,000	1,290,000	△310,000
			的代	250,000	163,020	△86,980
			会場費	1,000,000	1,294,888	294,888
			量代			
			役員手当	2,200,000	1,724,000	△476,000
			賞品代	100,000	190,850	90,850
13,444	13,444		保険料	300,000	273,550	△26,450
			備品費	3,800,000	286,304	△3,513,696
1,624,680	1,704,680	80,000	その他雑費	500,000	1,555,679	1,055,679
△32,000	20,000	52,000	公認料	300,000	130,000	△170,000
	225,000	225,000	都民大会	600,000	667,578	67,578
1,096,624	8,453,624	7,357,000	記録会等計	10,650,000	7,575,869	△3,074,131
△198,500	901,500	1,100,000	都室内選手権	900,000	902,038	2,038
△307,500	542,500	850,000	町田インドア	500,000	675,220	175,220
△62,970	1,237,030	1,300,000	東京インドアオープン	1,000,000	1,305,786	305,786
△568,970	2,681,030	3,250,000	インドア計(別紙詳細)	2,400,000	2,883,044	483,044
△365,500	1,134,500	1,500,000	フィールド	1,000,000	923,000	△77,000
280,000	380,000	100,000	関東フィールド	100,000	380,000	280,000
△85,500	1,514,500	1,600,000	フィールド計(別紙詳細)	1,100,000	1,303,000	203,000
40,000	90,000	50,000	関東ブロック・ターゲット大会	82,000	172,000	90,000
195,600	1,925,120	1,729,520	トップアスリート発掘育成	1,729,520	1,956,868	227,348
411,900	861,900	450,000	スポーツ指導員養成講座	450,000	544,489	94,489
			視察費用	100,000	137,981	37,981
△40,000		40,000	研修会参加費	70,000	88,689	18,689
△120,000	80,000	200,000	祝勝会	300,000	234,310	△65,690
929,654	15,606,174	14,676,520	事業費計	16,881,520	14,896,250	△1,985,270
			一般運営費			
			旅費交通費	300,000	337,056	37,056
			消耗品費	100,000	153,006	53,006
			通信費	60,000	70,398	10,398
			印刷費	70,000	46,420	△23,580
			交際費	40,000		△40,000
			慶弔費	30,000	18,200	△11,800
			会議費	60,000	27,770	△32,230
			HP費用	150,000	116,600	△33,400
			雑費	50,000	67,667	17,667
185,000	235,000	50,000	雑収入・雑支出	150,000	313,594	163,594
64	64		利息			
36,200	386,200	350,000	公認審判員申請等	350,000	375,520	25,520
			事務費	10,000	9,603	△397
			予備費	50,000		△50,000
70	5,070	5,000	バッジ申請手数料			
			その他(2022年度未処理分)		122,623	122,623
221,334	626,334	405,000	一般運営費計	1,420,000	1,658,457	238,457
			特別会計へ繰入	1,700,000	1,700,000	
	44,059		特別会計からの精算			
1,212,947	22,444,467	21,231,520	当期合計	24,531,520	22,779,707	△1,751,813
	△335,240		当期繰越金	△3,300,000		
	7,049,561	7,049,561	前期繰越額			
			次期繰越額	3,749,561	6,714,321	2,964,760
1,212,947	29,494,028	28,281,081	合計	28,281,081	29,494,028	1,212,947

特別会計(国体強化)

収入の部			項目	支出の部		
対比	決算	予算		予算	決算	対比
	120,000	120,000	予選会	200,000	149,478	△50,522
441,500	2,393,750	1,952,250	競技力向上費	2,300,000	2,174,473	△125,527
177,880	477,880	300,000	関東ブロック大会参加費	1,300,000	1,560,745	260,745
161,547	1,661,547	1,500,000	国体参加費	2,200,000	2,330,405	130,405
	3,000,000	3,000,000	ジュニア強化費	3,000,000	3,090,128	90,128
△770,010	69,990	840,000	オリンピック候補選手支援	300,000	70,900	△229,100
	150,000	150,000	指導者育成・スポーツ専門人材活用事業費	150,000	240,794	90,794
			予備費(前期繰越)	112,250	330	△111,920
	1,700,000	1,700,000	本会計より繰入			
			本会計へ精算		△44,059	△44,059
27	27		利息			
10,944	9,573,194	9,562,250	国体計	9,562,250	9,573,194	10,944

インドア明細

項目	収入の部				支出の部			
	都室内選手権	町田インドア	東京インドアオープン	計	都室内選手権	町田インドア	東京インドアオープン	計
記録会等参加費	901,500	542,500	1,128,000	2,572,000	0	0	0	0
的代	0	0	0	0	58,588	36,190	68,376	163,154
会場費	0	0	0	0	186,000	96,710	300,410	583,120
畳代	0	0	0	0	198,000	181,500	181,500	561,000
役員手当	0	0	0	0	417,000	271,000	390,000	1,078,000
賞品代	0	0	39,800	39,800	0	0	150,700	150,700
備品費	0	0	0	0	0	0	66,390	66,390
運送費	0	0	0	0	42,450	89,100	75,000	206,550
その他(弁当、選手宿泊、両替)			69,230	69,230		720	73,410	74,130
合計	901,500	542,500	1,237,030	2,681,030	902,038	675,220	1,305,786	2,883,044

フィールド明細

項目	収入の部			支出の部		
	フィールド	関東フィールド	計	フィールド	関東フィールド	計
記録会等参加費	1,134,500	380,000	1,514,500	0	380,000	380,000
会場費	0	0	0	741,000		741,000
役員手当	0	0	0	182,000		182,000
合計	1,134,500	380,000	1,514,500	923,000	380,000	1,303,000

方針

- ✓ 過去の事故例等を教訓として、競技会のみならず、各区市協会(連盟)・所属高校の練習会場での事故撲滅に向けて、周知徹底活動等に更に尽力する。 総
- ✓ 引き続き、専門委員の積極的な人選と選任(各部会が主体で人選)を図り、協会運営に参画できる人材を育成する。 総
- ✓ 都ア協ホームページをより良いものとするよう各部会と協力する。 総・競
- ✓ 個人情報の取扱いを全競技要項等に追記し、意図しない情報の流出を防止するように努める。 総
- ✓ 射場規模・立地等に準じた競技会種別の特化の試行など、公認競技会の運営に関する基本方針に沿った具体策の検証を行う。 総・審・競
- ✓ 規則改正講習及び審判資格更新事務を実施する。 審
- ✓ 1級審判員増員に向けた研修・補助事業を継続する。 審
- ✓ 経験の浅い2級審判員へのフォローアップを計画・実施する。 審
- ✓ 各ブロックから1級公認審判員を目指す候補者を募集し、1級審判員認定試験合格に向けた研修活動を実施する。 審
- ✓ 直轄競技会への審判員動員方法見直しの本格施行 審
- ✓ ジュニア大会、ジュニア合同練習会の2事業を実施。 普
- ✓ JSP0 公認スポーツ指導者(アーチェリーコーチ1)資格更新のための講習会の開催。 普
- ✓ 都のトップアスリート発掘・育成事業を受託、アスリートとしてトップを目指す中学生の発掘、選手強化の底上げを図る。 普・強
- ✓ 公認競技会会場の確保と日程調整。 競
- ✓ イアンセオ運用に必要な機器の更新の検討を行う。 競
- ✓ 佐賀国スポへの全種別での出場・ベスト8入賞を目標に選手強化を図る。 強
- ✓ 東京都2024年度スタート講習会を新規実施し、選手・指導者の2024年度の目標設定や身体づくり等を後押しする。 強
- ✓ 夢の島公園射場での強化練習の積極活用、及び国スポ対策として、団体戦の練習会を全国募集に拡大して実施する。 強
- ✓ 指導者・小中学生向けの講習会を実施し、指導方針の擦り合わせ、選手としての知識の向上等を図る。 強

・部会別計画

部 会	実 施 計 画
総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定例総会、理事会・常務理事会の開催 ✓ 各種関係会議等への出席 ✓ 全ア連登録事務、スターバッジ申請の受付 ✓ 全ア連、都体協、東京都関係書類の配信 ✓ 役員、理事、専門委員への傷害・賠償保険への加入と関係手続 ✓ 大会参加者への傷害保険の加入と関係手続 ✓ 都ア協HPの運用と活用 ✓ 都ア協所在地の確定・固定化の実施 ✓ 個人情報の取扱いを全競技要項に追記する。 ✓ 公認競技会の運営に関するテストケースの検証を実施する。 ✓ 協会の収支バランスの検証と財源強化の取り組み
審判部会 (別紙 8)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 規則改正伝達講習会の実施 ✓ 審判員更新事務の実施 ✓ 審判講習会(新規 2・3 級、フォローアップ講習ほか) ✓ 派遣事業(全国講習、関東学連、関東ア連ほか) ✓ 直轄大会での審判業務 ✓ 新規 1 級審判員を目指す候補者への研修・支援活動 ✓ 直轄競技会審判員のブロック宛て動員の本格施行
普及・育成部会 (別紙 9)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 強化部会と共管し、東京都トップアスリート発掘・育成事業の受託 ✓ JSP0 公認スポーツ指導者資格更新のための講習会の実施 ✓ 普及育成活動として、ジュニア大会、ジュニア合同練習会の実施
競技部会 (別紙 10~11)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公認競技会場の確保と各射場の利用回数の調整 ✓ 夢の島公園に於ける都民大会の実施 ✓ 射場規模・立地等に準じた競技会種別の特化の試行と評価 ✓ 都室内、インドアオープン大会開催地の固定化 ✓ イアンセオ運用にかかわる備品の更新
強化部会 (別紙 12)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国体候補選手強化事業は 8 回実施 (うち合宿 1 回、遠征試合 0 回) ✓ ジュニア特別強化事業は 8 回実施 (うち合宿 4 回、遠征試合 1 回) ✓ オリンピック等日本代表候補選手強化事業は遠征 5 回実施 ✓ 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業は遠征 1 回実施 ✓ 帯同トレーナーによる選手へのパフォーマンス向上と指導法の習得 ✓ 佐賀国スポへの全種別出場と入賞を目標とする。 ✓ 普及育成部会と共管し、トップアスリート発掘育成事業が選手強化につながるよう計画する。 ✓ 2024 年度スタート講習会の実施 ✓ 団体戦の練習会を全国募集にて実施

以上

◎審判部会

1 規則改正・資格更新に伴う事業

(1) 伝達講習会の実施

2年に一度の全ア連競技規則改正に伴う伝達講習会の実施

(2) 資格更新事務の執行

4年に一度の公認審判員資格更新事務の執行

2 1級審判員の確保

各ブロックから1級公認審判員を目指す候補者を募集し、1級審判員認定試験合格に向けた研修・補助事業を継続する。

3 講習会

(1) 競技規則改正に伴う伝達講習会 *1の(1)に既報

日時：6月～7月

(2) 新規2級審判員講習会

日時：2025年2月～3月

(3) 新規3級審判員講習会

日時：2025年2月～3月

(4) 3級審判員フォローアップ講習会

日時：夢の島公園（5月5日）、光が丘公園（6月16日）、
小金井公園（未定）で各1回開催予定

(5) 2級審判員フォローアップ講習会

日時：未定 夢の島公園、光が丘公園、小金井公園で各1回開催予定

4 派遣事業

(1) 全ア連競技規則改正伝達講習会へのオンライン参加（4月13日）

(2) 全国指導者・審判ルール研修会

11月30日～12月1日 滋賀県草津市（予定）

同研修会に審判部会員を1～2名程度派遣またはオンライン参加。

(3) 関東学連公認競技会

関東地区審判長からの依頼に応じ、1級審判員の派遣を行う。

(4) 関東ア連主管競技会

全日本社会人フィールド選手権大会（9月28日～29日 山梨県加賀美FA）

関東地区審判長からの依頼に応じ、審判員の派遣を行う。

(5) 夢の島開催全ア連主催競技会

全ア連からの依頼に応じ、審判員の派遣を行う。

5 直轄競技会審判業務対応

直轄競技会への審判員のブロック宛て動員の本格導入

(1) 第77回都民体育大会（5月26日 夢の島公園）

(2) 2024年度東京都フィールド選手権大会（8月18日 花のやまFA）

- (3) 2024 年度東京都ターゲット選手権大会(8月25日 夢の島公園)
- (4) 2024 年度東京都室内選手権大会(12月21日 奥戸総合スポーツセンター)
- (5) 東京インドアオープン 2025(2月1日～2日 BumB 東京スポーツ文化館)

◎普及・育成部会

1 ジュニア大会の複数回実施

7月14日 於:夢の島公園

7月15日 於:夢の島公園

10月13日 於:夢の島公園

2 ジュニア合同練習会の実施

小学生、中学生、高校生を対象とした合同練習会を実施し、ジュニア選手の競技力向上を図る。

3 東京都トップアスリート発掘・育成事業(東京都、(公財)東京都体育協会の助成事業)普及育成・強化部会の共管事業とし、発掘・育成した選手が強化策に結び付くような切れ目のない事業展開とする。

(1) 第15期生専門プログラム

アーチェリー競技を選択した男子2名、女子1名、計3名に対し、5月～12月の間に計20回の合同練習会(合宿含む)を実施する。

ジュニア大会、及び年末のインドア競技大会への出場を目指す。

(2) 第16期生体験プログラム

9月8日、9月22日の計2回。江戸川区総合体育館にて競技体験会を実施する。その際の評価をもとに第16期生の最終選考が行われる。

4 JSP0 公認スポーツ指導者資格更新講習会の実施

公認スポーツ指導者(アーチェリーコーチ1)資格更新講習会を開催し、指導者の育成を図る。

◎競技部会

1 公認競技会の運営に関する基本方針に沿った競技会の実施と検証

(1) ブロック制の維持と直轄大会に関して

年間競技会予定中、ブロック主管と直轄運営による大会に仕分けし、併せてブロック主管大会数の均等化を図る。

また、競技会場の維持・補修等の機会を定期的に設けるなど、競技会運営に支障を来さない対応について、ブロック任せとせず組織として対応する。

(2) 皆出場の取組みに関して

可能な限り会員全員の競技会出場を目指し、射場規模・立地等に準じた競技会種別の特化の試行と評価を実施する。

①同日2会場開催による機会の倍増

②午前・午後二部制による収容人数の倍増 など

(3) 個人エントリーに向けた検証

23年度中に一部の競技会で試行の個人エントリーについては、メリットとデメリットを考察し、本格導入に向けて研究協議を開始する。

2 競技会必要備品等の確保

(1) 信号機の更新

前年度の反省を生かし、当協会の予算規模に対応可能な機器の選定、リース契約等を含めた導入方法を調査・検討する。

(2) イアンセオ機材の更新等

経年劣化がみられる機材に関し、機材の保守や操作・運用面等の課題を含め、競技部会内にプロジェクトチームを立ち上げ、計画的な機材の更新を開始する。

また、同プロジェクトチームと主管ブロック、及び直轄競技会の担当者が連携を密にして、競技会開催に支障を来すことの無いよう、連絡調整を行う。

東京都アーチェリー協会 2024年度 競技予定案 (関東ア連・全ア連含む)

- ※ 大会要項は、webサイトに掲載します。
- ※ 申込開始日は、原則大会開催日の1か月前。締切日記載の場合でも先着順受付の場合、早く締め切ることがあります。先着順ではない大会で定員超過の場合は抽選とします。
- ※ ターゲット大会は小金井を除き当分の間3立で行わない。

↓開催日の文字の赤色は祝日です。「代替案」の表示がある大会は予約前のため開催は未定です。

2024年4月28日

公認	開催日	終了日 または代替案	担当	集合	ラウンド	大会名	会場	申込開始日	申込締切日	参加申込先	
★	4月7日(日)		東	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド・30・18	2024第1回夢の島ターゲット大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	4月14日(日)		西	8:30	70mラウンド60mラウンド B・C50mラウンド	2024春季小金井大会	小金井	3/14	3/31	西ブロック	
	4月14日(日)		南	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2、18mx2	2024第1回夢の島50・30・18大会 (CP可)	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	4月21日(日)		都F	9:00	F	2024第1回フィールド大会	花のやま	3/21	4/20	Web掲載	
★	4月28日(日)		北	8:30	70mラウンド B・C50mラウンド	2024春季光が丘大会	光が丘	3/28	4/14	北ブロック	
★	5月3日(金)		都F	9:00	F	2024第2回フィールド大会	花のやま	4/3	5/2	Web掲載	
	5月5日(日)		関東ア連			関東地区小中学生アーチェリー大会	埼玉はらっパーク	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
	5月5日(日)		南	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2、18mx2	2024第2回夢の島50・30・18大会 (CP可)	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	5月6日(月)		南	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド・30・18	2024第2回夢の島ターゲット大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	5月12日(日)		西	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド	2024皐月小金井ターゲット大会	小金井	4/12	4/28	西ブロック	
	5月17日(金)	～	5月19日(日)	全ア連	F	全日本フィールドアーチェリー選手権大会 兼 世界選手権選考会	奥伊吹				
★	5月19日(日)		北	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2	2024第1回光が丘50・30大会 (CP不可)	光が丘	4/19	5/5	北ブロック	
	5月26日(日)		都	8:30	オリンピック (30m)	第77回都民体育大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	6月2日(日)		都・強	8:30	70mラウンド×2	国民スポーツ大会アーチェリー競技東京都選考会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
	6月8日(土)	～	6月9日(日)	関東ア連		関東高等学校アーチェリー大会	千葉ゼットエーオリプスタジアム				
★	6月9日(日)		都F	9:00	F	2024第3回フィールド大会	花のやま	5/9	6/8	Web掲載	
	6月9日(日)		東	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2、18mx2	2024第3回夢の島50・30・18大会 (CP可)	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	6月16日(日)		南	8:00	70m・60mラウンド 30・18	2024第3回夢の島ターゲット大会1回目	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	6月16日(日)		南	13:00	70m・60mラウンド 30・18	2024第3回夢の島ターゲット大会2回目	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	6月16日(日)		北	8:30	B・C50mラウンド	2024光が丘ターゲット大会1回目	光が丘	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	6月16日(日)		北	13:00	B・C50mラウンド	2024光が丘ターゲット大会2回目	光が丘	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
	6月29日(土)	～	6月30日(日)	全ア連	70mラウンド	全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会	夢の島 全				
★	7月14日(日)	代替案	7月13日(土)	西	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2	2024夏季小金井50・30大会(CP不可) 要熱中症対策	🇲🇵 小金井	6/14	6/30	西ブロック
★	7月14日(日)		全ア連			笑顔をつなぐアーチェリー	BumB東京スポーツ文化館アーチェリー場				
★	7月14日(日)		東・普	8:30	60mラウンド 30・18 オリンピック	2024年度夢の島記念小学生・中学生オープン大会	🇲🇵 夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	7月15日(月)		東・普	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2/18mx2	2024第1回東京都小・中学生オープン大会 要熱中症対策	🇲🇵 夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
	7月14日(日)	～	7月15日(月)	関東ア連		県外参加高校生のみ可 第18回彩の国まごころ国体記念アーチェリー大会島村一郎杯	埼玉はらっパーク				
★	7月21日(日)		都F	9:00	F	2024第4回フィールド大会 要熱中症対策	🇲🇵 花のやま	6/21	7/20	Web掲載	
	7月25日(木)	～	8月4日(日)			Paris 2024 Olympic Games	Pari				
★	7月28日(日)		都	8:30	70mラウンド B・C50mラウンド	2024年度関東地区大会予選会 (都ア協より全ア連登録選手のみ)要熱中症対策	🇲🇵 夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	8月12日(月)		都F	9:00	F世界選手権ラウンド	2024年度東京都フィールドアーチェリー選手権大会 要熱中症対策	🇲🇵 花のやま	要項掲載	要項掲載	Web掲載	
★	8月18日(日)		関東ア連			国民スポーツ大会 関東ブロック大会	山梨数島総合公園				
★	8月25日(日)		都	8:30	70mラウンド/B・C50mラウンド/オリンピック	2024年度東京都ターゲットアーチェリー選手権大会 要熱中症対策	🇲🇵 夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	9月8日(日)	代替案	9月7日(土)	西	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド	2024東京都年齢別大会 要熱中症対策	🇲🇵 小金井	8/8	8/25	西ブロック
★	9月8日(日)		関東ア連			関東地区ターゲットアーチェリー選手権大会	栃木 大桶公園				
	9月13日(金)	～	9月15日(日)	全ア連		GAカップ 兼 全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会	つま恋				
★	9月15日(日)		強・南	8:30	70mラウンド	2024夢の島団体戦大会 予選(高体連 東京都選手権大会と併催)	🇲🇵 夢の島 高	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
	9月16日(月)		強・南	8:30	70mラウンドロビン	2024夢の島団体戦大会 本戦	🇲🇵 夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	9月22日(日)	代替案	9月21日(土)	北	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2	2024第2回光が丘50・30大会 (CP不可)要熱中症対策	🇲🇵 光が丘	8/22	9/8	北ブロック
	9月28日(土)	～	9月29日(日)	全ア連 関東ア連		全日本社会人フィールドアーチェリー選手権大会	山梨・加賀美				
★	9月29日(日)		東	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド・30・18	2024第4回夢の島ターゲット大会	🇲🇵 夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
	10月5日(土)	～	10月7日(月)	国スポ		国民スポーツ大会 アーチェリー	佐賀				
★	10月6日(日)	代替案	10月5日(土)	西	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド	2024秋季小金井大会 2部制	小金井	9/6	9/22	要項掲載
★	10月13日(日)		東・普	8:30	★50m・30mラウンド 30m×2/18mx2	2024第2回東京都小・中学生大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載	
★	10月20日(日)		都F	9:00	F	2024第5回フィールド大会	花のやま	Web掲載	Web掲載	Web掲載	
	10月25日(金)	～	10月27日(日)	全ア連		全日本ターゲットアーチェリー選手権大会	夢の島 全				

公認	開催日		終了日 または代替案	担当	集合	ラウンド	大会名	会場	申込開始日	申込締切日	参加申込先
★	11月3日(日)	代替案	11月2日(土)	西	8:30	900ラウンド	2024東京都900ラウンド大会(フライト制)	小金井	10/3	10/20	西ブロック
★	11月4日(月)			南	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド・30・18	2024第5回夢の島ターゲット大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	11月4日(月)			南	13:00	18mラウンド	2024夢の島アウトドアインドア大会①	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
	11月9日(土)	～	11月10日(日)	関東ア連			関東高等学校アーチェリー選抜大会	茨城笠松運動公園			
	11月8日(金)	～	11月10日(日)	全ア連			ナショナルチーム選考会	夢の島 全			
★	11月17日(日)	代替案	11月16日(土)	北	8:30	900ラウンド	2024東京都マスターズ大会	光が丘	10/17	11/3	北ブロック
★	11月24日(日)			都F	9:00	F	2024第6回フィールド大会	花のやま	Web掲載	Web掲載	Web掲載
★	12月1日(日)			都・強	8:30	70mラウンド B・C50mラウンド	2024第1回東京都強化夢の島大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	12月1日(日)			都・強	13:00	18mラウンド	2024夢の島アウトドアインドア大会②	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	12月8日(日)			都・強	8:30	70mラウンド B・C50mラウンド	2024第2回東京都強化夢の島大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	12月8日(日)			都・強	13:00	18mラウンド	2024夢の島アウトドアインドア大会③	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	12月15日(日)			都・強	8:30	70mラウンド B・C50mラウンド	2024第3回東京都強化夢の島大会	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	12月15日(日)			都・強	13:00	18mラウンド	2024夢の島アウトドアインドア大会④	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	12月21日(土)			都	9:00	18mラウンド	2024年度東京都室内アーチェリー選手権大会	奥戸総合体育館	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	1月12日(日)			都F	9:00	F	2024第7回フィールド大会	花のやま	12/12	1/11	Web掲載
★	1月18日(土)			都	9:00	18mラウンド	2024東京都町田インドア大会	町田市立総合体育館	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	2月1日(土)	～	2月2日(日)	都	9:00	18mラウンド	東京インドアオープン2025	BumB 東京スポーツ文化館	要項掲載	要項掲載	要項掲載
	3月1日(土)	～	3月2日(日)	強			ジュニア合宿	夢の島	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	3月2日(日)			都F	9:00	F	2024第8回フィールド大会	花のやま	2/2	3/1	Web掲載
★	3月9日(日)	代替案	3月8日(土)	西	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド	第44回毛利杯	小金井	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	3月16日(日)	代替案	3月15日(土)	北	8:30	70mラウンド B・C50mラウンド	2024スプリングカップ光が丘大会	光が丘	2/16	3/2	北ブロック
	3月23日(日)			南	8:30	70m・60mラウンド B・C50mラウンド・30・18	2024スプリングカップ夢の島大会	夢	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	11月23日(土)	～	11月24日(日)	江戸川区	9:00	18mラウンド	第15回江戸川インドアオープン	江戸川区総合体育館	要項掲載	要項掲載	要項掲載
★	1月26日(日)	/		青梅市	9:00	18mラウンド	2024年度青梅市インドアオープン大会	青梅市体育館	要項掲載	要項掲載	要項掲載

※ 表中緑色の「30・18」は旧「TST」で2024年4月から「30mラウンド(80cmマルチ的使用、36射×2)」と「18mラウンド(80cmマルチ的使用、36射×2)」となります

注1) 50+と小中学生の60mラウンドは、夢の島と小金井のみ開催、光が丘では開催しません。

注2) 70mラウンド、60mラウンド、50mラウンドの参加資格は、都ア協より全ア連競技者登録者、関東学生ア連登録者です。

大会によっては国民スポーツ大会東京都出場有資格者など門戸を広げる大会があります。申込担当者は、要項の参加資格を確認してください。

2024年度 競技力向上事業 国体候補選手強化事業 予算計画

【予算総括】

収入	分担金	1,978,900		
	競技団体負担金	71,000		
	その他	0		
	合計	2,049,900		
支出	計		分担金	分担金以外
	1 謝金	971,000	971,000	0
	2 交通費	80,000	50,000	30,000
	3 宿泊費	604,500	600,000	4,500
	4 食糧栄養費	130,000	105,000	25,000
	5 競技用消耗品費	25,500	25,500	0
	6 使用料・借上料	214,500	208,000	6,500
	7 通信運搬費	7,600	7,600	0
	8 事務雑費	8,900	8,900	0
	9 その他	7,900	2,900	5,000
合計	2,049,900	1,978,900	71,000	

【内訳明細】

事業	第3回記録会			夏季強化合宿			関東ブロック大会リハ		
分担金	141,200	日程：7/14	1,199,700	日程：7/19-7/21	118,800	日程：8/10-8-11			
競技団体負担金		会場：夢の島公園	68,000	会場：頂の家グラウン		会場：夢の島公園			
その他		参加者数：30人	0	参加者数：30人	0	参加者数：30人			
合計	141,200	指導者数：15人	1,267,700	指導者数：10人	118,800	指導者数：10人			
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	105,000	105,000		390,000	390,000		85,000	85,000	
2 交通費	0			80,000	50,000	30,000	0		
3 宿泊費	0			604,500	600,000	4,500	0		
4 食糧栄養費	30,000	30,000		40,000	15,000	25,000	30,000	30,000	
5 競技用消耗品費	3,000	3,000		12,000	12,000		3,000	3,000	
6 使用料・借上料	0			123,500	120,000	3,500	0		
7 通信運搬費	3,000	3,000		1,800	1,800		500	500	
8 事務雑費	200	200		8,000	8,000		300	300	
9 その他	0			7,900	2,900	5,000	0		
合計	141,200	141,200	0	1,267,700	1,199,700	68,000	118,800	118,800	0

事業	2024年度東京都アーチェリー選手権大会			団体戦練習			夢の島冬季大会①		
分担金	24,400	日程：8/25	233,800	日程：9/15-9/16	87,000	日程：12/3			
競技団体負担金		会場：夢の島公園		会場：夢の島公園		会場：夢の島公園			
その他		参加者数：30人	0	参加者数：30人		参加者数：30人			
合計	24,400	指導者数：3人	233,800	指導者数：25人	87,000	指導者数：13人			
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	21,000	21,000		175,000	175,000		65,000	65,000	
2 交通費	0			0			0		
3 宿泊費	0			0			0		
4 食糧栄養費	0			30,000	30,000		0		
5 競技用消耗品費	2,500	2,500		5,000	5,000		0		
6 使用料・借上料	0			22,000	22,000		22,000	22,000	
7 通信運搬費	800	800		1,500	1,500		0		
8 事務雑費	100	100		300	300		0		
9 その他	0			0			0		
合計	24,400	24,400	0	233,800	233,800	0	87,000	87,000	0

事業	夢の島冬季大会②			夢の島冬季大会③		
分担金	87,000	日程：12/8	87,000	日程：12/15		
競技団体負担金		会場：夢の島公園	3,000	会場：夢の島公園		
その他		参加者数：30人		参加者数：30人		
合計	87,000	指導者数：13人	90,000	指導者数：13人		
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	65,000	65,000		65,000	65,000	
2 交通費	0			0		
3 宿泊費	0			0		
4 食糧栄養費	0			0		
5 競技用消耗品費	0			0		
6 使用料・借上料	22,000	22,000		25,000	22,000	3,000
7 通信運搬費	0			0		
8 事務雑費	0			0		
9 その他	0			0		
合計	87,000	87,000	0	90,000	87,000	3,000

2024年度 競技力向上事業 ジュニア選手・育成強化事業 予算計画

【予算総括】

収入	分担金	3,000,000		
	競技団体負担金	93,900		
	その他	0		
	合計	3,093,900		
支出	計		分担金	分担金以外
	1 謝金	718,000	718,000	0
	2 交通費	1,090,000	1,090,000	0
	3 宿泊費	852,000	766,000	86,000
	4 食糧栄養費	113,000	108,500	4,500
	5 競技用消耗品費	18,500	18,500	0
	6 使用料・借上料	262,000	262,000	0
	7 通信運搬費	2,000	2,000	0
	8 事務雑費	4,500	4,500	0
	9 その他	33,900	30,500	3,400
合計	3,093,900	3,000,000	93,900	

【内訳明細】

事業	第1回記録会			第2回記録会（関東合同練習会）			2024九州遠征		
分担金	57,500	日程：6/23		111,000	日程：7/7		876,000	日程：7/未定	
競技団体負担金	0	会場：夢の島公園		0	会場：夢の島公園		0	会場：九州地方(未定)	
その他		参加者数：15人			参加者数：20人			参加者数：10人	
合計	57,500	指導者数：6人		111,000	指導者数：15人		876,000	指導者数：3人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	42,000	42,000		105,000	105,000		63,000	63,000	
2 交通費	0			0			500,000	500,000	
3 宿泊費	0			0			200,000	200,000	
4 食糧栄養費	11,000	11,000		3,000	3,000		15,000	15,000	
5 競技用消耗品費	3,000	3,000		2,500	2,500		10,000	10,000	
6 使用料・借上料	0			0			72,000	72,000	
7 通信運搬費	500	500		0			1,000	1,000	
8 事務雑費	1,000	1,000		500	500		1,000	1,000	
9 その他	0			0			14,000	14,000	
合計	57,500	57,500	0	111,000	111,000	0	876,000	876,000	0

事業	トップアスリート忍野合宿			2024秋季強化合宿			トップアスリート練習会		
分担金	39,000	日程：7/23-7/26		984,500	日程：11/未定		39,000	日程：2/未定	
競技団体負担金	60,500	会場：原の家グラウンド		29,000	会場：九州地方(未定)		0	会場：未定	
その他		参加者数：6人			参加者数：10人			参加者数：6人	
合計	99,500	指導者数：4人		1,013,500	指導者数：3人		39,000	指導者数：5人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	0			63,000	63,000		35,000	35,000	
2 交通費	0			590,000	590,000		0		
3 宿泊費	95,000	35,000	60,000	246,000	220,000	26,000	0		
4 食糧栄養費	3,000	2,500	500	30,000	30,000		0		
5 競技用消耗品費	0			0			3,000	3,000	
6 使用料・借上料	0			80,000	80,000		0		
7 通信運搬費	0			0			500	500	
8 事務雑費	1,500	1,500		0			500	500	
9 その他	0			4,500	1,500	3,000	0		
合計	99,500	39,000	60,500	1,013,500	984,500	29,000	39,000	39,000	0

事業	強化教育合宿			2024春季強化合宿		
分担金	474,000	日程：3/1-3/2		419,000	日程：3/未定	
競技団体負担金	4,000	会場：夢の島公園		400	会場：関東圏(未定)	
その他		参加者数：20人			参加者数：11人	
合計	478,000	指導者数：15人		419,400	指導者数：2人	
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 謝金	368,000	368,000		42,000	42,000	
2 交通費	0			0		
3 宿泊費	81,000	81,000		230,000	230,000	
4 食糧栄養費	29,000	25,000	4,000	22,000	22,000	
5 競技用消耗品費	0			0		
6 使用料・借上料	0			110,000	110,000	
7 通信運搬費	0			0		
8 事務雑費	0			0		
9 その他	0			15,400	15,000	400
合計	478,000	474,000	4,000	419,400	419,000	400

2024年度 オリンピック等日本代表候補選手強化事業 予算計画

【予算総括】

収入	分担金	1,000,000		
	競技団体負担金	20,000		
	その他	0		
	合計	1,020,000		
支出		計	分担金	分担金以外
	1 交通費	270,000	270,000	0
	2 宿泊費	350,000	330,000	20,000
	3 海外旅行保険料	0	0	0
	4 使用料・借上料	0	0	0
	5 運搬費	0	0	0
	6 食糧栄養費	0	0	0
	7 参加料・その他	400,000	400,000	0
合計	1,020,000	1,000,000	20,000	

【内訳明細】

事業	第57回 全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会	第7回全日本GA兼2025年GA育成 兼 第19回全	第66回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会						
分担金	120,000	400,000	80,000						
競技団体負担金	0	0	0						
その他									
合計	120,000	400,000	80,000						
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 交通費	0	0	0	100,000	100,000	0	0	0	0
2 宿泊費	0	0	0	200,000	200,000	0	0	0	0
3 海外旅行保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 使用料・借上料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 食糧栄養費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 参加料・その他	120,000	120,000	0	100,000	100,000	0	80,000	80,000	0
合計	120,000	120,000	0	400,000	400,000	0	80,000	80,000	0

事業	2025年 ナショナルチーム選考会	第34回全日本室内アーチェリー選手権大会				
分担金	100,000	300,000				
競技団体負担金	0	20,000				
その他						
合計	100,000	320,000				
支出	計	分担金	分担金以外	計	分担金	分担金以外
1 交通費	0	0	0	170,000	170,000	0
2 宿泊費	50,000	50,000	0	100,000	80,000	20,000
3 海外旅行保険料	0	0	0	0	0	0
4 使用料・借上料	0	0	0	0	0	0
5 運搬費	0	0	0	0	0	0
6 食糧栄養費	0	0	0	0	0	0
7 参加料・その他	50,000	50,000	0	50,000	50,000	0
合計	100,000	100,000	0	320,000	300,000	20,000

2024年度 競技力向上事業 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業 予算計画

【予算総括】

収入	分担金	150,000		
	競技団体負担金	98,000		
	その他	0		
	合計	248,000		
		計	分担金	分担金以外
支出	1 謝金	0	0	0
	2 交通費	50,000	0	50,000
	3 海外旅行保険料	0	0	0
	4 宿泊費	85,000	50,000	35,000
	5 食糧栄養費	0	0	0
	6 使用料・借上料	112,000	100,000	12,000
	7 通信運搬費	0	0	0
	8 事務雑費	0	0	0
	9 その他	1,000	0	1,000
		合計	248,000	150,000

【内訳明細】

事業	佐賀国スポへのトレーナー派遣		
分担金	150,000	日程:	10/3-10/8
競技団体負担金	90,585	会場:	佐賀
その他	0		
合計	240,585	指導者数:	1人
支出	計	分担金	分担金以外
1 謝金	0		
2 交通費	50,000		50,000
3 海外旅行保険料	0		
4 宿泊費	85,000	50,000	35,000
5 食糧栄養費	0		
6 使用料・借上料	112,000	100,000	12,000
7 通信運搬費	0		
8 事務雑費	0		
9 その他	1,000		1,000
合計	248,000	150,000	98,000

2024年度予算書
自2024年4月1日 至2025年3月31日

東京都アーチェリー協会
(単位 円)

収入の部			項目	支出の部		
対比	前年度決算	予算		予算	前年度決算	対比
△15,000	465,000	450,000	分担金	150,000	150,000	
297,100	5,702,900	6,000,000	登録料	4,000,000	3,965,000	35,000
			賛助会費	130,000	130,000	
			寄付金	100,000	100,000	
			補助金	180,000	180,000	
282,100	6,167,900	6,450,000	計	4,560,000	4,525,000	35,000
			事業費			
2,209,500	6,490,500	8,700,000	記録会等参加費	1,300,000	1,290,000	10,000
			的紙代	400,000	163,020	236,980
			会場費	1,300,000	1,294,888	5,112
			置代			
			役員手当	2,400,000	1,724,000	676,000
			賞品代	100,000	190,850	△90,850
△13,444	13,444		保険料	300,000	273,550	26,450
			備品費	300,000	286,304	13,696
△1,404,680	1,704,680	300,000	その他雑費	500,000	1,555,679	△1,055,679
	20,000	20,000	公認料	140,000	130,000	10,000
	225,000	225,000	都民大会	650,000	667,578	△17,578
791,376	8,453,624	9,245,000	記録会等計	7,390,000	7,575,869	△185,869
△301,500	901,500	600,000	都室内選手権	610,000	902,038	△292,038
57,500	542,500	600,000	町田インドア	630,000	675,220	△45,220
△37,030	1,237,030	1,200,000	東京インドアオープン	1,252,000	1,305,786	△53,786
△281,030	2,681,030	2,400,000	インドア計(別紙詳細)	2,492,000	2,883,044	△391,044
215,500	1,134,500	1,350,000	フィールド	1,240,000	923,000	317,000
△80,000	380,000	300,000	関東フィールド	380,000	380,000	
135,500	1,514,500	1,650,000	フィールド計	1,620,000	1,303,000	317,000
	90,000	90,000	関東ターゲット大会	172,000	172,000	
△195,600	1,925,120	1,729,520	ジュニア育成地域推進			
△861,900	861,900		トップアスリート発掘育成	1,729,520	1,956,868	△227,348
			スポーツ指導員養成講座		544,489	△544,489
			視察費用	150,000	137,981	12,019
40,000		40,000	研修会参加費	70,000	88,689	△18,689
120,000	80,000	200,000	祝勝会	300,000	234,310	65,690
△251,654	15,606,174	15,354,520	当期事業費計	13,923,520	14,896,250	△972,730
			一般運営費			
			旅費交通費	350,000	337,056	12,944
			消耗品費	150,000	153,006	△3,006
			通信費	70,000	70,398	△398
			印刷費	50,000	46,420	3,580
			交際費	40,000		40,000
			慶弔費	30,000	18,200	11,800
			会議費	30,000	27,770	2,230
			HP費用	140,000	116,600	23,400
			雑費	100,000	190,290	△90,290
△235,000	235,000		雑収入・雑支出	70,000	313,594	△243,594
△64	64		利息			
△36,200	386,200	350,000	公認審判員申請等	350,000	375,520	△25,520
			事務費	10,000	9,603	397
			予備費	50,000		50,000
△70	5,070	5,000	バッジ申請手数料			
△271,334	626,334	355,000	一般運営費計	1,440,000	1,658,457	△218,457
			特別会計へ繰入	1,700,000	1,700,000	
△44,059	44,059		特別会計からの精算			
△284,947	22,444,467	22,159,520	当期合計	21,623,520	22,779,707	△1,156,187
△335,240	7,049,561	6,714,321	前期繰越額			
			次期繰越額	7,250,321	6,714,321	536,000
△620,187	29,494,028	28,873,841	合計	28,873,841	29,494,028	△620,187

特別会計(国体強化)

収入の部			項目	支出の部		
対比	前年度決算	予算		予算	前年度決算	対比
	120,000	120,000	予選会	150,000	149,478	522
△214,850	2,393,750	2,178,900	競技力向上費	2,200,000	2,174,473	25,527
122,120	477,880	600,000	関東ブロック大会参加費	1,500,000	1,560,745	△60,745
△61,547	1,661,547	1,600,000	国体参加費	2,200,000	2,330,405	△130,405
	3,000,000	3,000,000	ジュニア強化費	3,100,000	3,090,128	9,872
930,010	69,990	1,000,000	オリンピック候補選手支援	1,010,000	70,900	939,100
	150,000	150,000	指導者育成・スポーツ専門人材活用事業費	160,000	240,794	△80,794
			予備費(前期繰越)		330	△330
	1,700,000	1,700,000	本会計より繰入			
			本会計へ精算	28,900	△44,059	72,959
△27	27		利息			
775,706	9,573,194	10,348,900	国体計	10,348,900	9,573,194	775,706

インドア明細

項目	収入の部				支出の部			
	都室内選手権	町田インドア	東京インドアオープン	計	都室内選手権	町田インドア	東京インドアオープン	計
記録会等	600,000	600,000	1,200,000	2,400,000	0	0	0	0
的代	0	0	0	0	40,000	40,000	70,000	150,000
会場費	0	0	150,000	150,000	98,000	98,000	310,000	506,000
置代	0	0	0	0	100,000	100,000	200,000	400,000
役員手当	0	0	0	0	280,000	280,000	400,000	960,000
賞品代	0	0	60,000	60,000	0	0	160,000	160,000
備品費	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
運送費	0	0	0	0	90,000	110,000	90,000	290,000
<small>その他(車庫、選手宿泊、食料)</small>			80,000	80,000	2,000	2,000	80,000	84,000
合計	600,000	600,000	1,490,000	2,610,000	610,000	630,000	1,330,000	2,486,000

宿泊150,000円分販売する
都室内と、町田インドアで1試合とみる

バッジ¥200→¥300

弁当は有償、

フィールド明細

項目	収入の部			支出の部		
	フィールド	関東フィールド	計	フィールド	関東フィールド	計
記録会等	1,350,000	380,000	1,730,000	0	380,000	380,000
会場費	0	0	0	990,000		990,000
役員手当	0	0	0	250,000		250,000
合計	1,350,000	380,000	1,730,000	1,240,000	380,000	1,620,000

議案第5号 公認競技会の運営に関する基本方針

上記の議案について、別添基本方針により報告し、認定を求めます。

2024年5月29日

東京都アーチェリー協会会長 松本 洋平

※ 基本方針の本文は、別添のとおり

公認競技会の運営に関する基本方針

東京都アーチェリー協会
会長 松本洋平

【序文】

2023年5月の公認競技会のあり方審議会(小野寺長久委員長)提出の答申文に基づき、東京都アーチェリー協会理事会において鋭意協議を行い、向こう10年程度の当協会における全日本アーチェリー連盟公認競技会の運営における「基本方針」を策定しました。

当協会傘下の協会(連盟)、中学・高等学校部活動、或いは当協会の会員各位におかれましては、本基本方針に基づき、安全で安心な競技会が実施されることにより、これまで以上に優秀な成績が収められるよう、希望するところです。また、一人でも多くの会員が公認競技会の運営に関りを持てるよう意見交換を行い、競技者・運営者ともに大会運営に精励されることを期待します。

1 公認競技会場の選定について

2024年度以降の公認競技会の実施可能な競技場に関しては、(別記)一覧のとおりである。このうち、アウトドア競技会会場地の「都立駒沢オリンピック公園第一球技場」に関しては、専用のアーチェリー場でないために畳を持ち込まなければならない点、その畳の保管にも大きな財政的な負担があることなどを考えると、それ以外の射場に比して魅力が薄れてきていた。

そこに、夢の島公園のアーチェリー場がオリンピックレガシーとして恒久化が決定し、様々な条件整備が未だ必要であることを考慮しても、今後も駒沢第一球技場での競技会運営の継続に関しては、財政的に厳しいものと結論付けざるを得ない。

東京都アーチェリー協会(以下、「都ア協」という。)の発足以来、60年以上に亘って使用し、数々のオリンピックアーチャーを生み育てた伝統の競技会場ではあるが、その役割は夢の島アーチェリー場に引き継ぐことが適当なのではないかと考えている。この点は、永年同競技会場の備品類を共有してきた関東学生アーチェリー連盟、東京都高体連アーチェリー専門部とも十分協議の上で、歩調を併せることとし、2023年秋の高体連の競技会を最後に撤退することに決した。

次に、インドア競技会の実施可能な体育館等に関しては、過去にも様々な体育館や見本市会場などを借用してきたが、現在は別記の5会場を候補会場として、その都度の抽選状況などにより選考していきたい。今後も、新たな候補地の選定が臨まれるところである。

最後にフィールド競技会については、私設の競技場での開催であり、都ア協としても都内で唯一の射場を今後とも末永く継続使用できることを祈るばかりである。

2 ブロック制の維持と直轄競技会に関して

都ア協のアウトドア公認競技会(主に70・50mラウンド)の運営は、これまでも協会直轄と東西南北のブロック主管に2分化されてきた。昨年度末の公認競技会のあり方審議会(以下、「あり方審議会」という。)の答申によれば、「従来どおりブロック制を継続し運用していく。」との結論であり、審議会の議論の中では、競技会場毎にブロックを固定化することが適当である点も確認された。

これを受け具体的には、小金井・光が丘の都立公園弓道場についてはそれぞれを西と北が、都立夢の島公園アーチェリー場については 2024 年度からは東と南が個別に受け持つよう割り振ることが適当と考えている。また、ブロック主管の競技会の数がほぼ均等になるように競技会日程を調整することが妥当と考える。

その上で、競技会の運営方法や安全を守るための条件などは、東京都アーチェリー協会競技運営安全管理規程(平成 22 年 4 月 12 日)を基準とし、可能な限り平準化できるよう、競技部会の分掌として、常に見直しを行っていききたい。

ただし、競技会場の位置づけと規模(常設射場と広場共用、的数等)、付帯設備の差異(安全対策の充実度、設営の容易さ等)によって、全く同条件での運営は難しいところではあるが、各射場の維持管理状況や必要備品類の有無についてはブロック任せにせず、競技部会を中心にして定期的に理事会においても把握できるような方策を講ずることが必要と考える。

方や今後のアウトドア競技会においても、都ア協直轄にての開催が必要な場合、或いはインドア大会においては、一部の協会主管試合(青梅、江戸川等)を除き、当初より協会直轄での主催試合としてきている。また、フィールド競技会はブロック主管で実施していた過去があるものの、会場が一か所に絞られた現状にあっては、協会直轄での運営が妥当と考えたい。

この項のまとめとしては、2024 年度以降も都ア協の公認競技会の試合数と主管方式は、従来を引き継ぐものとするが、ブロック間での出役数の不均衡をできる限り防ぐためにも、競技会の年間開催数から必要な役員・審判員数を概算し、可能な範囲で均等に割り振るよう理事会等において確認していききたい。そして、将来に向けての公認競技会の円滑な運営には、直轄であれ、ブロック主管であれ、全会員諸氏の積極的な出役が臨まれるところである。

3 公認競技会の運営について

(1) ブロック主管競技会

ブロック主管の競技会と言えども主催は都ア協のため、大会要項は競技部会において立案し、大会の目的と種別・種目等を会員に示し、主管のブロックを指名する。指名を受けたブロックは、エントリーの受付から、競技会役員の動員、当日の大会運営の全てを執り行い、大会結果や事務報告を関係部会等に報告することになる。

今後アウトドア競技会の多くはブロック主管での実施を原則とするため、競技役員の動員方法等は各ブロックに委ねられることになる。ただし、全日本アーチェリー連盟(以下、「全ア連」という。)の競技規則に示される資格が必要な競技役員の補充が間に合わない場合には、他のブロックに依頼をかけるとともに、審判部会への報告が必要となる。

(2) 直轄競技会

直轄競技会とは、主管する部会を指名、担当部会において大会要項を立案し、大会の目的と種別・種目等を会員に示す競技会をいう。エントリーの受付は担当部会が行い、当日の大会運営は担当部会が発する動員に応じた競技会役員で執り行い、大会結果や事務報告は担当部会の責任となる。ブロック主管と異なる点は競技会役員の動員方法で、大会の規模や開催日数に応じて必要役員数を計算し、ラインジャッジを除く競技会役員は、概ね協会理事や部会の専門委員から募ることとなるが、全てのラインジャッジと記録員の一部に関しては、各ブロックに均等に割り振ることを原則としたい。

直轄競技会の競技会役員の全てを会員への公募と担当部会の指名でのみ行おうとすると、出役者に偏りが生じた過去のデータからも各区市に依頼することの妥当性が理解できるものと思料する。また、ラインジャッジ専従であれば、3級審判員取得後の会員や近年審判業務から縁遠くなっていた会員の活躍の場としても最適と言える。また、審判資格のない協会理事にも総務・記録業務などを受け持つ場を提供することも視野に、多くの会員に公認競技会を支える側の意識を醸成したい。

4 都ア協理事の競技会への関与について

都ア協主催の公認競技会である限り、例えブロック主管の競技会であったとしても、当協会の役員が不在のままでの開催は想定していない。あり方審議会の答申においても、「競技会には主催責任者として都ア協理事の出席は不可欠。理事の輪番制を行うべき。」との結論が示されている。

一方で、都ア協理事の中には全ア連の公認審判員資格や JSP0 のコーチ資格の未登録者もいるため、競技会役員としての活躍の場が限られることが課題となってくる。勿論、新たに資格を取得することも重要ではあるが、まずは総務担当などの資格要件の不要な役職への配置などを考慮することが求められる。そして、何よりも理事として公認競技会に関わる意識が高まるような啓発活動と、出役しやすい条件整備も考えなければならない。

5 公認競技会の位置づけについて

全ての全ア連公認競技会の主催は申請団体の基で組織的に行われるべきであり、都ア協においては、協会の公式行事として事業計画に則り行われてきた。しかし、直轄競技会役員の動員に対しては、ややもすると呼びかけた部会の担当業務として捉えられる向きがあり、会員全体で担わなければならない業務という意識が薄れる傾向にある。

このため、改めての意識づけの意味で、大会要項は会長が、競技会役員等の出役依頼(動員)については理事長名で行うこととしたい。勿論、発信者名が規定されようとも、出役依頼に強制力が備わるものではなく、過去もこれからは会員諸氏の自主性を重んじ、当日の競技者のための会員相互のボランタリーな立場の役職者の依頼であることに変わりはない。

今後とも現状の競技会運営を維持するためには、競技者と運営者双方がリスペクトするとともに、相互理解・協力の関係を築くことが必要であろう。そのためにも、会員間での役割分業の意識を廃し、公認競技会への一人でも多くの出役をお願いするところである。

6 イアンセオの担当部会について(記録の整理)

当協会でのイアンセオの導入から2年が経過し、既に公認大会においては、得点記録の集計と記録の整理においては不可欠な機材となっている。導入当初は機器の選定等々の関係から協会内の有志により進められてきた面もあるが、イアンセオの導入目的である得点記録集計の迅速化と記録の整理を事務分掌として、担当部会を決定する必要がある。

東京都アーチェリー協会事業部会に関する規則、においては、第2条第5号に競技部会の分掌事務として「公認競技会の運営、記録の整理」が明記されており、記録集計や整理等の業務はこの項と合致するため、今後はイアンセオの担当部会と決することとした。

なお、機材の保守や操作・運用面等の課題を含め、競技部会内にプロジェクトチームを立ち上げ、ブロック担当者や直轄競技会の担当者との連携を密にして、競技会開催に支障を来すことの無いよう、配慮が必要となる。

7 ラインジャッジの重要性と確保について

ブロック主管大会においても直轄大会においても、競技会役員の固定化が表面化している。そのような状況の中、都ア協の公認審判員数は260人(2023年度当初)ということで、全審判員が積極的に関わりを持てば解決する課題ではあるが、日程が折り合わない、或いは経験不足のために躊躇する等々の理由により、出役者に偏りが生じているものと考えられる。

ラインジャッジが公認競技会に必置の役員である以上は、各ブロックまたは区市ア協(連)において、責任をもって育成・派遣することを切に願いたい。現在、都ア協においても、出役間隔が

空いてしまった審判員のためのフォローアップ研修を実施しているが、各ブロックにおいても出役に堪え得る研修機会の設定、フォローアップ研修への参加促進、区市ア協(連)にあっては出役依頼に対して可能な範囲で均等な派遣に心がけるなどの対策を講じていただきたい。また、派遣可能な審判員数が不足している区市ア協(連)においては、新しい人材の発掘に取り組むことが急務と捉えてほしい。

区市ア協(連)における対策の例としては、月例記録会、区・市民大会、或いはブロック内の親睦射会等を公認競技会に準じた審判業務を体験する研修の場とし、間隔の空いた有資格者と新規の担い手の掘り起こしを行うことなどが考えられる。それぞれの立場で、会員各位の審判員業務への積極的な関りを喚起することが肝要と考えたい。

8 競技会役員の育成

公認競技会の運営には、試合そのものを円滑で公正に進行するために有資格者(公認審判員)が応じなければならない表の部分と、エントリーの受付から大会前日までの準備作業、競技会当日の試合開始までの総務業務、そして行射終了後の記録の整理、経理処理と大会報告書の作成等々の裏方の業務に至るまで、競技会役員の担う役割は多岐にわたっている。

その中において、競技会役員の統括を担う競技委員長は1級審判員の配置が求められており、必要人数の確保は都ア協が取り組むべき喫緊な課題である。2級審判員への積極的な働きかけやスカウト活動を具体的に計画する必要がある、当然のこと、各区市ア協(連)との連携・協力が強く求められるところである。

一方で、射場の管理や必要備品等の調達に応ずる射場管理者(仮称)の存在は、競技規則に規定されていないために見過ごされがちであったが、これまでは個別の競技会場に精通した一部の会員や近隣のア協にその任が委ねられてきた。競技会場の指定管理者等は場の提供が本務であり、私たちの競技会に相応しい設備や消耗品類の用意は都ア協において独自に行わなければならない。本件は、審議会からも、現在の担い手からの引継ぎやサブ人材の育成が大切、という意見を受けており、こうした役割の重要性の認識を新たにしたところである。

その上で、適宜な人材の補充等も大切な方策ではあるが、個の力に依拠するばかりでなく、組織としての対応にも注力する必要がある、都ア協の理事会が会場の確保から準備に至る経過にもっと積極的に関与することが必要であると考えたい。具体的には、会場ごとの射場整備日を設定し、競技会運営に支障を来さないよう、都ア協の役員が積極的に公認競技会に関わる場を設けることなどが考えられる。

また、競技会当日の審判員業務以外の総務・記録関係等の業務などについても、可能な限り標準化、そして明確化(明文化)をすることで、安心して競技会役員を引受けることが可能になるものと考えたい。

9 個人エントリーへの移行

会員が、公認競技会に出場するためには大会要項を確認し、期日までに主管するブロック等にエントリーを申し出ることが必要である。受け手の都ア協においては、エントリー受付とは会員個々の競技会出場の権利を守る重要な業務と考えている。都ア協では、メールでのやり取りが一般的となった20年以上前からエントリーは団体申請を基本としており、各区市ア協(連)のエントリー担当者または部活の顧問等は、それぞれの組織を代表して個人のエントリーの代行を行ってきた経緯がある。

ところが、どれだけ注意を払っても、人為的なミスによる出場機会の齟齬が発生してしまっており、各組織のエントリー担当者も、受け手の都ア協担当者も受付期間は常にメールの交換に気を張らなければならないのが現状である。

そのような中、都ア協においても一部の大会において、試行ではあるが、決済システムを活用

したエントリー方法について開始した。メリットとしては、競技者本人が競技会への出場権を直接購入できるため、その場で出場資格が確定されること、及び当日集金の必要もなくなり、朝の受付業務の簡素化が図れる点にある。

現状においては、中高校部活動に対する配慮や1大会での定員に対する弓種別の販売数の調整、或いは全てを先着順の定員締め切り方式でよいのか、といった課題もあり、2024年の後期或いは2025年度からの全面的な個人エントリー化に向けて研究協議を開始することとしたい。

10 公認大会に必要な役員数に関して

現状、都ア協のアウトドア競技会の実施可能な射場での最大収容人数は、小金井 96 人、光が丘 76 人、夢の島 240 人とかなり開きがあるが、ブロック主管を視野に入れた場合には選手 80～100 人程度を上限と考えての標準的な配置数等を提示したい。

最初に競技規則に示されている役員として①競技委員長、②DOS、③審判長、④審判員(3人程度)の小計6人が必要になってくる。これ以外に運営上必要な配置として⑤計時員(DOSとの兼務が可能)、⑥総務・射場委員(2人程度)、⑦記録集計員(2人程度)小計6人の合計11～12人が標準的な催行実施人員となる。このうち、後段の運営上必要な役員に関しては、公認審判員資格の有無は不問ではあるが、機器の操作や射場の特性を理解する者でないと務まらないことを加味する必要がある。なお、この中には都ア協の役員が複数名は関わる必要があることは、前述のとおりである。

次に、フィールド競技会での標準的な配置数は、競技規則に示されている①競技委員長、②審判長、③審判員(2人程度)の小計4人と、運営に必要な④総務委員、⑤記録員の各1人の合計6人を標準的な催行実施人員となる。

インドア競技会に関しては、会場規模や開催日数・部数がそれぞれ異なるため、その都度必要役員数を算定し、動員依頼を発することになる。

最後に、アウトドアやフィールドの東京都選手権、非公認ではあるが都民大会などのトーナメント戦を伴う大会も別途担当部会において必要な役員数を算定し、都度動員を依頼することになるが、審判員に関しては各ブロックに均等に動員を依頼することを標準とするものと考えたい。

11 夢の島アーチェリー場での競技会に関して

オリンピックレガシーとしてのアーチェリー場ではあるが、貸切日以外は都民の憩いの場としても開放されているため、事故防止にはより注意が必要な射場でもある。従って、前項の必要役員数に事故防止のための⑧警備員1人の加配が必要となる。

また、設備的には60的240人までの対応が可能ではあるが、ブロック主管の競技会開催時には25的100人程度までの受入れ人数にしないと西・北ブロックとのアンバランスが生じるため、的数制限が必要となる。

2024年度からは駒沢第一球技場に代わる射場として、東・南ブロックが主管する大会の会場としてスタートすることになるため、年間のブロック主管の競技会数を極力均等化するよう開催日数の調整を図る必要がある。

なお、近年70・50mラウンドへの参加希望者数が100人を超す大会が増えており、小金井・光が丘射場においては抽選により出場者を選考している。しかし、夢の島射場においては極力抽選等による選考は実施せず、事前協議によって高体連、関東学連との共催大会とし、それぞれの主管より審判員等の人手を協同することで、より柔軟な対応を行うことも検討し、希望者全員出場を叶えたい。

12 大会参加費の見直しについて

都ア協の公認大会経費においても昨今の物価高騰の影響を受けており、参加費の見直しを行う必要があるものと考えている。都ア協にとって、公認競技会の運営は最大で最も重要な事業ではあるが、協会の年間収支と受益者負担のバランスを配慮の上、全ての公認競技会の収支を点検し、見直しの必要性についての協議を理事会において行い、見直しに際しては総会議案として上程することが適当と考えている。

主な見直しの根拠であるが、この数年の公認競技会での大きな変化としては、記録集計用のイアンセオ機材が必要になっていること、加えて計時用のタイマーセットも更新時期を迎えているなど、試合に必要な大きな備品類は参加費のみで賄うことには無理があるため、協会の年間予算に少なからず影響を与えている。

また、大量の量の購入には経費以外に購入先の確保が年々困難になっていることは、先々の競技会運営、特にインドア競技会の存続に大きな影響が考えられる。さらに、量や大型の大会機材の保管・運搬のための経費も契約当初に比して物価高騰の影響は留まることはない。加えて、的紙、スコアカードの印刷用紙、入賞者に配付のバッヂに至るまで、値上がりを免れている備品類・消耗品類は見当たらないのが現状である。

13 皆出場の取組みに関して

本項は、あり方審議会への諮問事項にはなかった事項ではあるが、2023年6月に実施した会員アンケートにより課題となった件を常務理事会において再協議し、競技者ファーストに向けて研究・協議を開始することとした。

本アンケートにおいては、出場定員を超過することの多い小金井・光が丘射場における抽選による出場者の決定について会員諸氏の意向を調査したものであるが、自由意見の中に多く見られた午前・午後の二部制を行うことで、抽選を回避できるのではないかとというものである。

過去においては144射が一試合であったこと顧みれば、72射を二試合行うことは時間的にも可能という計算が成り立つ。勿論、受付や選手の入替え時間等の工夫が必要なことや、午前と午後のお出場希望者の偏りが発生しないか等の懸念があるとともに、競技会役員の負担増も考慮しなければならないなど、研究・協議すべき課題は山積する。

しかし、多くのアンケート回答者が皆出場の方策について検討してほしい、という回答・意見でもあり、2024年度中に午前・午後二部制、或いは弓種別の同日二会場開催などをテストケースとして実施し、運営上の問題点等を確認の上、今後の方針を検討していくことにした。

当該競技会参加者には、皆出場が実ったという感想のみならず、このことで確実に負担が増す運営側の役務にも耳目を傾注し、審判団に対してどのような配慮が必要で、どの程度であれば実施可能な範囲であるのかを公平にご判断いただくことをお願いしたい。

【跋文・定期的な見直しの必要性】

この基本方針の策定までには、審議会での協議を含めると足掛け2年に及ぶ慎重なる議論が尽くされました。議論を重ねる間にも、新型コロナウイルス禍による自粛行動、毎年のように変化する競技規則の改正、新たな記録集計機材の登場などもあり、公認競技会を取り巻く環境は日々変化をしております。

審議会での貴重なご意見によりこの基本方針の策定に至ったことにつきましては、審議委員の皆様には、改めて感謝に堪えません。

しかし、本基本方針も、更なる見直しを加えない限り、何れは陳腐なものになりかねません。従いまして、本方針の定期的な見直しを実施し、必要に応じた柔軟性が求められるところです。その際には、改めて理事会や会員各位の英知が集約されることを望みます。

◆公認競技会が実施可能な会場(2023年度末現在)

(アウトドア会場)

- 1 都立駒沢オリンピック公園第一球技場《世田谷区》
- 2 都立小金井公園弓道場《小金井市》
- 3 都立光が丘公園弓道場《練馬区》
- 4 都立夢の島公園アーチェリー場《江東区》

(インドア会場)

- 5 都立駒沢オリンピック公園体育館《世田谷区》
- 6 都立駒沢オリンピック公園室内球技場《世田谷区》
- 7 町田市立総合体育館《町田市》
- 8 葛飾区立奥戸総合スポーツセンター体育館《葛飾区》
- 9 BumB 東京スポーツ文化館メインアリーナ《江東区》

(フィールド会場)

- 10 花のやまフィールドアーチェリー場《町田市》

報告第1号 2025年度予算編成に関して

上記の件に関して、以下のとおりに報告します。

2024年5月29日

東京都アーチェリー協会会長 松本洋平

【現況】

2024年度予算につきましては、収支のバランスを見ながら支出超過にならないよう編成しましたが、2025年度の予算に関しましては、全く予断を許さない状況にあります。

つきましては、以下による検討が必要になります。

【検討事項】

第1 受益者負担額の見直し

公認競技会の運営に関する基本方針にもお示したとおりで、大会経費の都ア協会計への影響を考慮し、参加費見直しの検討を開始したいと考えます。

- ①夢の島会場での東京都からの的紙の無償提供は2024年度で終了し、的紙代の負担は対前年度比70万円の増となります。
- ②インドア競技会収支バランスの再評価が必要です。
- ③記録管理、安全管理に伴う競技会役員の人員増への対応が必要です。

第2 備品類の更新対策

今後、定期的な更新が必要になる信号機、記録用機材等の備品類の購入又はリース契約等の執行計画に関して、検討を開始したいと考えます。

- ①購入を差し控えたタイマーをリース契約した場合、備品費が75万円の増額となります。
- ②イアンセオ用端末、プリンター等の初期の購入備品は既に5年が経過していること、或いは、共用パソコンの購入等も検討が必要です。

第3 事務局経費の見直し(後継者問題を含む)

これまで、全てボランティア体制で維持してきた、総務関係業務(経理処理・会員登録事務等)、各部会の業務の負担に対する評価の検討を開始することが肝要です。

- ①会計、事務局、競技部、強化部等、遅滞の許されない業務が発生している担当者への謝金の付与の検討を開始する時期に来ています。
- ②現況、費用弁償(交通費)のみ支給の理事会への出席者に対し、謝金の付与の検討を開始する時期に来ています。

【検討方法等】

常務理事会・理事会での検討を行い、協議内容等を逐次議事録で公開します。

会員各位への費用負担等の変更が生じる件については、定例又は臨時総会の審議により決定することとします。備品類の購入、契約等に必要な手続きに関しては、理事会の決定で行う場合もあります。

以上